

令和5年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会

ま え が き

本報告は、令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜における第一次募集本試験(令和5年3月6日実施)の結果について、分析及び考察を示したものです。

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に即し、その実現に資する出題内容となっているか、中学校において育成することを目指す資質・能力の状況を適切に測ることができているかなど、これまでも継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めてきたところです。

また、入学者選抜学力検査は、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力の状況を測ることができるものであり、中学校において学習指導の充実・改善を図るための重要な基礎資料として、当該検査の結果の精緻な分析は大きな意味があります。

これらを踏まえ、次の二点を目的として分析及び考察を進めました。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

一方、高等学校においても、本報告に示すデータや考察は、中学校教育までの学習の成果の円滑な接続、生徒の実態に応じた指導計画の作成、指導内容や指導方法の工夫のための有用な情報であると考えます。

中学校及び高等学校においては、生徒一人一人が育成を目指す資質・能力を確実に身に付けることを目指し、カリキュラム・マネジメントの充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などに取り組んでいるところですが、本報告を積極的に活用することにより、これらを一層促進し、中学生及び高校生にとってより質の高い、豊かな学びが実現されることを切に期待しています。

令和5年7月

宮城県教育委員会教育長 佐藤 靖彦

目 次

| | | |
|-----|------------------|----|
| I | 受験状況 | 3 |
| II | 出題の基本方針 | 3 |
| III | 学力検査の結果（全日制受験者） | |
| 1 | 総点 | 3 |
| 2 | 各教科の成績 | 3 |
| 3 | 各教科の得点分布 | 4 |
| IV | 各教科の分析 | |
| 1 | 標本の抽出 | 4 |
| 2 | 分析の方法 | 4 |
| 3 | 各教科の分析結果の概況 | 5 |
| | （1）社会 | |
| | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 6 |
| | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 8 |
| | ・問題 | 9 |
| | ・正答と配点 | 17 |
| | （2）数学 | |
| | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 18 |
| | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 20 |
| | ・問題 | 21 |
| | ・正答と配点 | 29 |
| | （3）理科 | |
| | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 30 |
| | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 32 |
| | ・問題 | 33 |
| | ・正答と配点 | 41 |
| | （4）英語 | |
| | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 42 |
| | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 44 |
| | ・問題 | 45 |
| | ・「放送によるテスト」台本 | 54 |
| | ・正答と配点 | 57 |
| | （5）国語 | |
| | ・出題のねらいと内容・結果の考察 | 58 |
| | ・正答率・無答率・得点率・その他 | 60 |
| | ・正答と配点 | 62 |
| | ・問題 | 63 |

※（5）「国語」については、『問題』を右から左に進む向きに頁割付するため、『問題』と『正答と配点』の掲載順を他教科とは逆にしている。

I 受験状況

表1に今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 年度別学力検査受験者数

| 年度 | 全日制 | 定時制 | 計 |
|------|--------|-----|--------|
| 令和5年 | 13,704 | 341 | 14,045 |
| 令和4年 | 13,518 | 310 | 13,828 |

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎・基本を重視し、知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を総合的にみることをねらいとした。

また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な力を的確に捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

| 得点区分 | 令和5年度 | | 令和4年度 |
|---------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 割合(%) | 割合(%) |
| 0～100 | 194 | 1.4 | 2.7 |
| 101～150 | 697 | 5.1 | 7.7 |
| 151～200 | 1,392 | 10.2 | 11.4 |
| 201～250 | 1,908 | 13.9 | 14.2 |
| 251～300 | 2,302 | 16.8 | 15.9 |
| 301～350 | 2,518 | 18.4 | 17.3 |
| 351～400 | 2,457 | 17.9 | 17.0 |
| 401～450 | 1,958 | 14.3 | 12.6 |
| 451～500 | 278 | 2.0 | 1.2 |
| 計 | 13,704 | 100.0 | 100.0 |

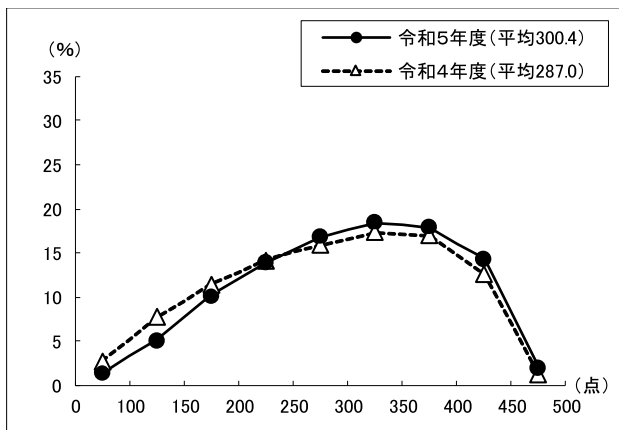


図1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表3に各教科の受験者の平均点等と、合格者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点等

| 教科 区分 | | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 総点 |
|-------------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 受 験 者 | 平均 | 70.9 (58.0) | 68.0 (57.3) | 45.6 (58.2) | 58.8 (58.9) | 57.1 (54.7) | 300.4 (287.0) |
| | 最高 | 99 | 100 | 100 | 100 | 100 | 490 |
| | 最低 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 33 |
| | 中央値 | 75 | 71 | 46 | 60 | 58 | 308 |
| | 最頻値 | 82 | 86 | 48 | 73 | 93 | 325 |
| 合格者平均 | | 70.9 | 67.7 | 45.6 | 58.7 | 56.9 | 299.8 |

()内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、社会、数学、理科、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

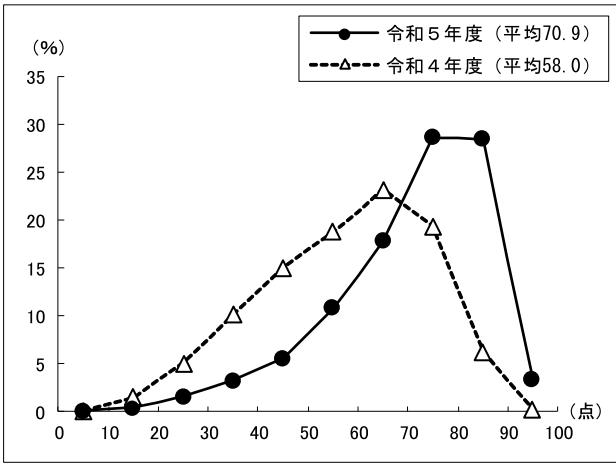


図2 国語

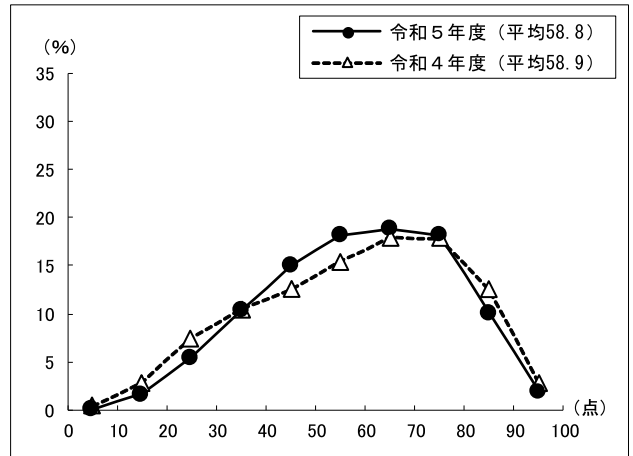


図5 理科

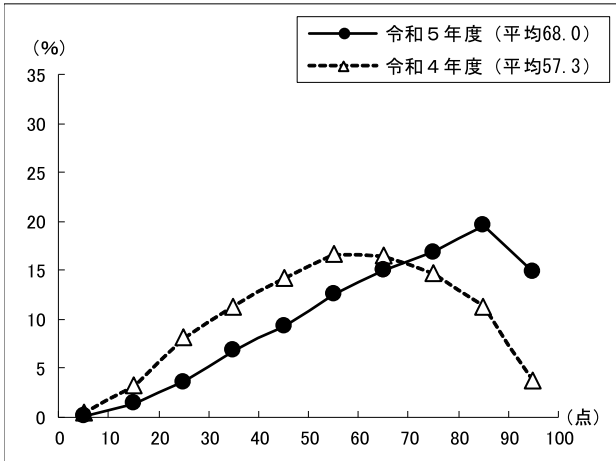


図3 社会

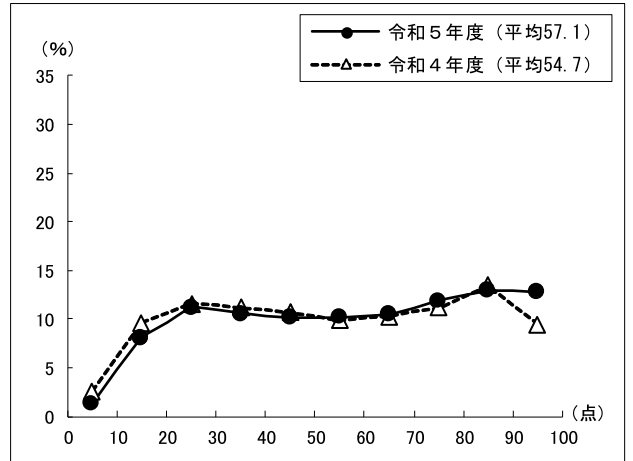


図6 英語

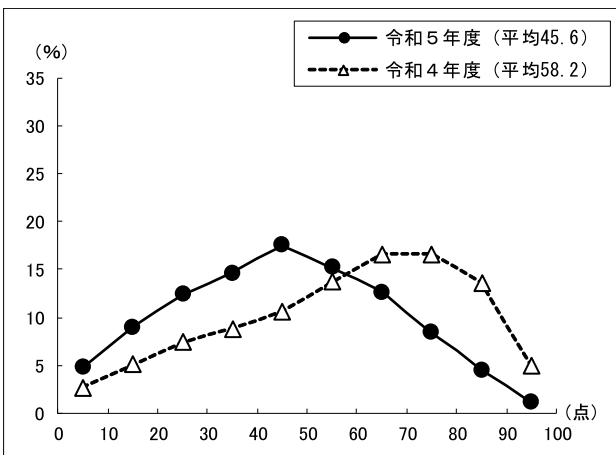


図4 数学

IV 各教科の分析

1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。
 標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し標本とした。

2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正答の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点を基に三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

3 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 70.9点 (前年度比 +12.9)

目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、読み手の立場に立って文章を整えることに課題

学びの成果

- 情報の扱い方に関する事項について、情報と情報との関係の表し方を理解し使うことができている。
- 合意形成に向けた話し合いにおいて、進行の仕方を考え、話し合いの状況を捉えることができている。

課題

- 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることに課題がある。
- 文章を書く目的を明確にし、文章全体を読み手の立場に立って整えることに課題がある。

授業づくりのポイント

- 複数の場面を取り上げながら、多様な解釈の可能性について、考えを伝え合う活動を取り入れる。
- 目的や意図に応じた文章とするために、読み手の助言を得ながら、書き手自身が自らの文章を整える機会を学習活動に位置付ける。

社会 平均点 68.0点 (前年度比 +10.7)

事象を多面的・多角的に考察すること、複数の情報を関連付けて適切に表現することに課題

学びの成果

- 地理、歴史及び公民分野の基礎的・基本的な知識が身に付いている。
- 個々の資料から情報を読み取ることはできている。

課題

- 時代や地域の特色を踏まえながら、事象を多面的・多角的に考察することに課題がある。
- 複数の資料から読み取った情報を関連付けて、適切に表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- 三分野において、単元など内容や時間のまとまりを見通した「問い」を設定し、生徒が考察したり構想したりする活動を充実させる。
- 地図や年表、グラフなどから読み取ったことを基に考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする活動を充実させる。

数学 平均点 45.6点 (前年度比 -12.6)

条件を見だし式に表現すること、論理的に筋道を立てて表現することに課題

学びの成果

- 数と式の計算についての基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。

課題

- 条件を見だし、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することに課題がある。

- 根拠を明らかにしながら、論理的に筋道を立てて表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- 問題文から条件を見だし、式としてどう表現できるかをグループで考えさせる活動や立式までの過程を説明させる活動を取り入れる。
- 生徒同士が具体的な数で確認しながら性質を見いだしたり、文字式で一般的に表現する方法を検討したりする機会を設ける。
- 解決の過程において、記述内容が正確か、根拠が妥当かを確かめる機会を設ける。

理科 平均点 58.8点 (前年度比 -0.1)

観察、実験の結果を適切に処理し、その結果を分析し解釈することや考えを表現することに課題

学びの成果

- 自然の事物・現象についての基本的な知識が身に付いている。
- 観察、実験に関する基本的な技能が身に付いている。

課題

- 観察、実験で得られた複数の結果を質的・量的な関係で捉えて比較し、共通点や相違点について説明することに課題がある。
- 観察、実験の結果を図やグラフなどに表したり、考察したことを科学的な用語を用いて言葉で説明したりすることに課題がある。

授業づくりのポイント

- 条件の異なる観察、実験を行い、その結果を比較し、考察したことを説明する機会を設ける。
- 観察、実験の結果の処理や考察について、科学的な根拠に基づき議論するなどして、自分の考えをより妥当なものにする学習を充実させる。

英語 平均点 57.1点 (前年度比 +2.4)

会話の流れに沿って適切に応答すること、英文の要点を的確に捉えることに課題

学びの成果

- 英語による短い説明や会話を聞いて、必要な情報を聞き取ることはできている。
- まとまった量の英文を読み、大まかな話の流れを捉えることはできている。

課題

- 会話の流れに応じて、問いかけに対して適切に応答することに課題がある。
- まとまった量の英文を読み、書き手が伝えたいことの要点を捉えることに課題がある。

授業づくりのポイント

- CAN-DOリストを基にして、目的や場面、状況を適切に設定した言語活動を段階的に行う。
- 聞いたり読んだりする受容面での英語使用を、それを話したり書いたりする発信面での活動へと結び付け、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるようにする。

1 出題のねらいと内容

地理、歴史及び公民に関する知識、調査や資料から情報を読み取り、まとめる技能並びに社会的事象等の意味や相互関係について多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、「平等権」を素材とし、平等権の歴史とその基本となる考え方に関する知識及び女性の就業率の変化とその背景について、資料を基に考察する力をみようとした。

第二問では、「東南アジアの経済発展」を題材とし、世界地理や東南アジアの歴史に関する知識、資料から情報を読み取る技能及び資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「古代から近世における農村のようす」を題材とし、古代から近世までの歴史に関する知識及び江戸時代の農村の変化につい

て、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「財政と私たちの生活」を題材とし、財政に関する知識及び社会資本の維持や改善について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「中部地方の自然環境と人々の暮らし」を題材とし、日本地理や近代の歴史に関する知識及び山間地域に暮らす人々の生活について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「日本の文化の発展」を題材とし、公民や日本の文化の歴史に関する知識及び伝統文化の継承の在り方について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

社会的事象を時代の流れの中に位置付けながら理解することに課題

1 (2) 人権の尊重を世界共通の基準として初めて国際連合で採択されたものとして適当なものを選ぶ問題。正答率は90.8%で、人権思想の歩みに関する基礎的・基本的な内容を理解しているといえる。

2 (2) 労働に関する募集や採用、配置などについて男女を平等に扱うことを定めた法律の名称を記述する問題。正答率は54.0%にとどまった。男女平等を目指し、様々な法制度が整備されてきたことの学習を通して、人権を保障する法の意義について理解を深めさせる

とともに、現代の社会的事象への関心を高め、課題を追究する態度を養いたい。

＜第二問＞地理的分野の問題

複数の資料から読み取ったことを関連付けて、論理的に説明することに課題

3 ASEAN主要国の輸出上位3品目と輸出総額の近年の状況についてまとめた資料から読み取れるものとして誤っているものを選ぶ問題。c層の得点率が34.7%にとどまった。これは、選択肢中の「鉱産資源」が具体的に何を指すかについて基礎的な知識が十分に身に付いていないことによるものと推察される。個々の事物を総称する用語や地理に関わる事象の概念を活用する場面を大切にしたい。

4 ベトナムにおける国内総生産の増加の理由を資料に基づき説明する問題。得点率は67.3%であったが、政府の政策と外国企業からの投資額の推移を関連付け、投資額が増えることで経済活動が活発になったという結論までに至らない解答が多かった。世界の地域に関わる諸事象について考察したことや思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりするといった活動の充実が望まれる。

＜第三問＞歴史的分野の問題

既習事項と資料から読み取ったこととを関連付けながら考察することに課題

- 1 律令制のもとの土地制度に係る語句を記述する問題。c層の得点率が47.9%で、b層とc層の差が40.8ポイントと大きかった。班田収授法から墾田永年私財法への推移を類似や差異を明確にして捉えさせたい。
- 5 江戸時代後期の農村において、小作人となる農民が増えた理由を資料に基づき説明する問題。得点率が46.2%にとどまった。貨幣経済が農村に広がる中で、経済的な格差が生み出されたという既習の知識を、資料から読み取ったことと関連付け、十分に考察できていないといえる。歴史的な見方・考え方に沿った視点を生かした問いを設定し、既習の知識と諸資料とを相互に結び付けて考察、選択・判断していくような単元を構想したい。

＜第四問＞公民的分野の問題

複数の資料から必要な情報を読み取り、課題の解決に向けてまとめることに課題

- 4 (2) 岐阜県の社会資本の維持や改善の取り組みの効果について、資料に基づき説明する問題。得点率は57.1%にとどまり、グラフや文章などの異種の資料を十分に活用して説明

するまでに至らない解答が多かった。諸資料を活用し、見比べたり結び付けたりして情報を分析し、まとめる技能を身に付けさせたい。

＜第五問＞地理的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

時代や地域の特色を踏まえながら、事象を多面的・多角的に考察することに課題

- 2 (2) 明治時代の日本の様子についての説明として不適当なものを選ぶ問題。正答率は52.8%にとどまり、明治時代に寺子屋が増加したというイを選んだ誤答が多かった。それぞれの時代における政治の展開や産業の発達、社会の様子や文化の特色などを多面的・多角的に考察させたい。
- 3 長野県伊那市での配送用ドローンを用いた取り組みの目的を資料に基づき説明する問題。得点率は72.9%であったが、誤答をみると、商店の経営者や配送業者などに触れず、消費者の視点のみで述べた解答が多かった。社会の諸課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する活動を重視したい。

＜第六問＞公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解することに課題

- 2 19世紀半ばから20世紀半ばの日本と外国との関わりについて述べた文を年代の古い順に並べかえる問題。正答率が44.0%にとどまった。この時期の我が国が欧米諸国から制度や科学技術を取り入れ、社会の様子や人々の生活が変化していった過程を捉えきれていないといえる。世界の動きと関連付けて、我が国の歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解させたい。

| 問題 | | | | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率 | 調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~46点) |
|-----|-------|---------|------------|-------|-------------------------------|--------------------------------|--|
| 第一問 | 1 | (1) | 多肢選択 歴史 | 62.3% | 0.0% | 62.3% | a:87.8% b:63.1% c:41.0% |
| | | (2) | 多肢選択 公民 | 90.8% | 0.0% | 90.8% | a:99.1% b:91.5% c:83.3% |
| | | (3) | 多肢選択 歴史 | 80.0% | 0.0% | 80.0% | a:91.3% b:87.9% c:63.2% |
| | 2 | (1) | 多肢選択 公民 | 87.3% | 0.0% | 87.3% | a:98.3% b:90.8% c:75.0% |
| | | (2) | 語句記述 公民 | 54.0% | 3.3% | 60.1% | a:90.7% b:69.5% c:26.4% |
| 第二問 | 1 | 多肢選択 地理 | 82.8% | 0.0% | 82.8% | a:100.0% b:88.7% c:63.2% | |
| | 2 | (1) | 多肢選択 歴史・地理 | 66.3% | 0.0% | 66.3% | a:93.9% b:70.2% c:40.3% |
| | | (2) | 語句記述 地理 | 80.8% | 9.0% | 80.8% | a:96.5% b:91.5% c:57.6% |
| | 3 | 多肢選択 地理 | 62.5% | 0.0% | 62.5% | a:89.6% b:68.8% c:34.7% | |
| | 4 | 論述 地理 | 41.5% | 3.3% | 67.3% | a:87.8% b:65.7% c:52.4% | |
| 第三問 | 1 | 語句記述 歴史 | 72.3% | 3.8% | 75.8% | a:94.8% b:88.7% c:47.9% | |
| | 2 | 多肢選択 歴史 | 60.8% | 0.0% | 60.8% | a:81.7% b:61.0% c:43.8% | |
| | 3 | 多肢選択 歴史 | 68.0% | 0.0% | 68.0% | a:95.7% b:71.6% c:42.4% | |
| | 4 | 多肢選択 歴史 | 70.5% | 0.5% | 70.5% | a:93.9% b:73.8% c:48.6% | |
| | 5 | 論述 歴史 | 19.3% | 3.8% | 46.2% | a:65.2% b:51.1% c:26.3% | |
| 第四問 | 1 | 多肢選択 公民 | 68.5% | 0.0% | 68.5% | a:84.4% b:63.1% c:61.1% | |
| | 2 | 多肢選択 公民 | 56.8% | 0.0% | 56.8% | a:87.0% b:54.6% c:34.7% | |
| | 3 | 多肢選択 公民 | 60.8% | 0.5% | 60.8% | a:94.8% b:63.8% c:30.6% | |
| | 4 | (1) | 語句記述 公民 | 41.3% | 12.5% | 43.4% | a:82.3% b:44.9% c:10.9% |
| | | (2) | 論述 公民 | 31.5% | 7.5% | 57.1% | a:75.5% b:56.0% c:43.5% |
| 第五問 | 1 | (1) | 多肢選択 地理 | 64.5% | 0.0% | 64.5% | a:92.2% b:70.9% c:36.1% |
| | | (2) | 多肢選択 地理 | 69.0% | 0.0% | 69.0% | a:96.5% b:77.3% c:38.9% |
| | 2 | (1) | 多肢選択 地理 | 77.0% | 0.0% | 77.0% | a:91.3% b:78.7% c:63.9% |
| | | (2) | 多肢選択 地理・歴史 | 52.8% | 0.3% | 52.8% | a:80.0% b:47.5% c:36.1% |
| | 3 | 論述 地理 | 48.3% | 2.0% | 72.9% | a:82.8% b:76.9% c:61.1% | |
| 第六問 | 1 | (1) | 語句記述 歴史 | 70.5% | 5.5% | 71.3% | a:94.8% b:79.7% c:44.2% |
| | | (2) | 多肢選択 歴史 | 67.3% | 0.0% | 67.3% | a:86.1% b:69.5% c:50.0% |
| | 2 | 並べ替え 歴史 | 44.0% | 0.0% | 44.0% | a:76.5% b:41.8% c:20.1% | |
| | 3 | 多肢選択 公民 | 90.0% | 0.3% | 90.0% | a:98.3% b:92.2% c:81.3% | |
| 4 | 論述 公民 | 60.3% | 2.8% | 77.0% | a:89.6% b:82.1% c:61.8% | | |
| 計 | | | | | | 67.4% | a:88.4% b:70.6% c:47.5% |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和5年度 公立高等学校入学者選抜学力検査問題 社会

第一問 平等権について、次の1, 2の問いに答えなさい。

1 平等権をはじめとした人権は、人々の長年の努力によって獲得されてきました。このことについて、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(1) 18世紀に、すべての人間が平等であることなど、保障されるべき人権が記された独立宣言を發表した国を、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア イギリス イ フランス ウ アメリカ エ ドイツ

(2) 人権の保障を初めて国際的にうたい、人権の尊重を世界共通で達成すべき基準として、1948年に国際連合で採択されたものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

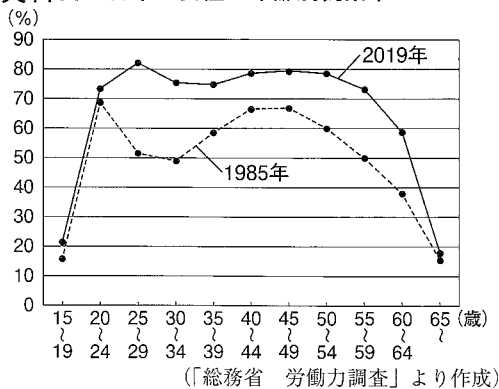
ア 世界人権宣言 イ ポツダム宣言 ウ ベルサイユ条約 エ 権利章典

(3) 日本で、部落差別からの解放を目的に、1922年に結成された団体を、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 全国水平社 イ 立志社 ウ 国会期成同盟 エ 財閥

2 夏美さんは、社会科の授業で平等権について学び、現代における女性の雇用について調べ、次のように資料Aとまとめを作成しました。これを見て、あとの(1), (2)の問いに答えなさい。

資料A 日本の女性の年齢別就業率



まとめ

資料Aから、1985年と2019年の女性の年齢別就業率を比べると、すべての年齢層で、2019年の方が就業率が高くなっており、特に **a** や、55歳~59歳と60~64歳の年齢層で、就業率に大きな差が生まれていることがわかります。このような変化の背景には、1985年の **b** や、1990年代の育児・介護休業法、男女共同参画社会基本法の制定などがあって考えられます。

(1) まとめの文中の **a** にあてはまる、最も適切な年齢層の組み合わせを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

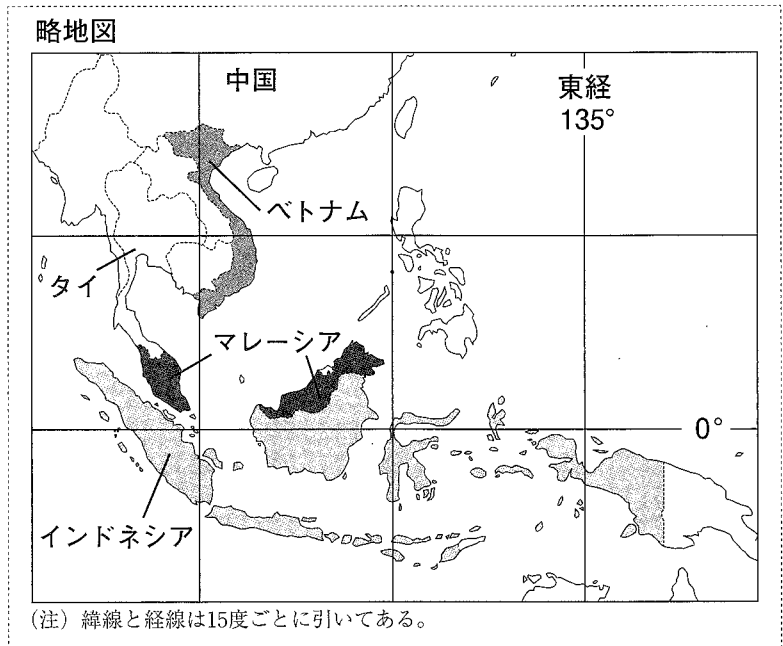
ア 15歳~19歳と20歳~24歳 イ 25歳~29歳と30歳~34歳
ウ 35歳~39歳と40歳~44歳 エ 45歳~49歳と50歳~54歳

(2) まとめの文中の **b** にあてはまる、労働に関する募集や採用、配置などについて男女を平等に扱うことを定めた法律名を書きなさい。

第二問 優子さんは、社会科の授業で、「東南アジアの経済発展」について調べました。次の1～4の問いに答えなさい。

1 優子さんは、略地図を作成して、東南アジア諸国の位置を調べました。東南アジア諸国について説明した文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ベトナムの東部は、インド洋に面している。
- イ タイは、中国と陸続きで国境を接している。
- ウ マレーシアの領土は、東経150度と東経180度の間に広がっている。
- エ インドネシアには、赤道が通っている。



2 優子さんは、東南アジア諸国によって結成された、ASEAN（東南アジア諸国連合）について調べ、資料Aを作成しました。これをみて、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料A ASEANについて

| ASEANのうごき | 加盟国と加盟年 |
|--|------------------------------------|
| 1967年 当時この地域で起きていた a を背景に、地域の平和と安全や、経済成長の促進を目的に設立された。 | 1967年 インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ |
| ↓ | 1984年 ブルネイ・ダルサラーム |
| 1992年 地域内の経済的協力の強化に取り組むため、ASEAN自由貿易協定を結んだ。 | 1995年 ベトナム |
| ↓ | 1997年 ラオス、ミャンマー |
| 2015年 地域内の経済的協力などを、より発展させるため、ASEAN共同体が設立された。 | 1999年 カンボジア |

(〔外務省ホームページ〕などより作成)

(1) **a** にあてはまる語句として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 第一次世界大戦 イ ベトナム戦争 ウ 朝鮮戦争 エ 太平洋戦争

(2) 下線部について、優子さんは、ASEAN共同体について考察するため、ヨーロッパにおける取り組みと比較してみようと考えています。政治や経済などの面で国の枠組みをこえた協力を進めることを目的に、1993年にヨーロッパで発足した地域的枠組みを何というか、書きなさい。

- 3 優子さんは、ASEAN主要国の、近年の輸出の状況を知るため、資料Bを作成しました。資料Bから読みとれることとして、誤っているものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

著作権の関係により
掲載しておりません。

(注) 数字は四捨五入している。

(「世界国勢図会2021/22」などより作成)

- ア ベトナムは、2001年には上位3品目になかった機械類が、2019年には上位3品目にある。
イ 2019年の上位3品目に自動車があるのは、4か国のなかでタイだけである。
ウ マレーシアの機械類の輸出額は、2001年に比べ、2019年は少なくなっている。
エ インドネシアは、いずれの年も機械類と鉱産資源が上位3品目にある。

- 4 優子さんは、ASEANのなかで、国の経済力の大きさを示す国内総生産が増加しているベトナムに着目し、資料C、Dを作成しました。ベトナムで国内総生産が増加している理由として考えられることを、資料C、Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

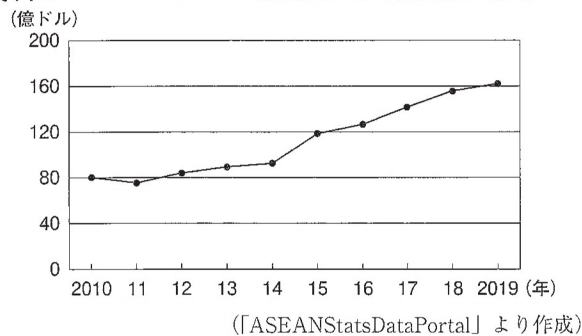
資料C ベトナム政府による外国からの投資を促す政策の一部

- 道路や電気設備などの社会資本を整え、利便性を備えた工業団地を整備している。
- 電子産業や自動車産業、ハイテク産業などを、経済成長のために優先する産業として指定し、工業団地に積極的に誘致している。
- 工業団地に進出する企業は、税金の免除など優遇措置を受けることができる。

(注) 投資とは、利益を見込んで製造工場をつくることや、事業を拡大させるなどのために資金を出すこと。

(「日本貿易振興機構ホームページ」より作成)

資料D ベトナムへの外国企業からの投資額の推移



第三問 真一さんは、社会科の授業で、「古代から近世における農村のようす」について調べ、次のような表を作成しました。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

| | 農村のようす |
|----|---|
| 古代 | 律令制により、班田収授法にもとづき、6年ごとに戸籍が作られ、その戸籍に登録された人々に、 ① という土地が与えられた。墾田永年私財法が出されると、貴族や有力な寺院が荘園を所有するようになった。 |
| 中世 | 鎌倉時代、第3代将軍源実朝が亡くなったあと、 ② 多くの関東の御家人が西日本の地頭に任命され、幕府の支配が広がった。室町時代には、有力な農民が中心となり、 ③ とよばれるまとまりが生まれ、村の自治のしくみがつくられていた。 |
| 近世 | ④ 豊臣秀吉の支配を経て、江戸時代の農村では、村方三役とよばれる有力な百姓が中心となり、土地をもつ本百姓たちが村の自治にあっていたが、しだいに農村内では ⑤ 農民の間の経済的格差が拡大していった。 |

1 ①にあてはまる語句を書きなさい。

2 下線部②の背景となったできごとについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 坂上田村麻呂が蝦夷を攻め、朝廷が東北地方の支配を広げた。
- イ 後鳥羽上皇が幕府をたおすための兵を挙げ、承久の乱が起こった。
- ウ 将軍足利義政のあとつぎ問題をきっかけに、応仁の乱が起こった。
- エ 平将門が関東地方で、藤原純友が瀬戸内地方で反乱を起こした。

3 ③にあてはまる語句として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土倉
- イ 五人組
- ウ 惣
- エ 町衆

4 下線部④の人物の政策について説明した文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 江戸などの都市に働きに出ていた農民を農村に戻すとともに、ききんに備えて米を蓄えさせた。
- イ 生活が苦しくなり、土地を売るなどした御家人を救うために、徳政令を出した。
- ウ 民衆の意見を聞くための目安箱を設置したほか、裁判の基準となる公事方御定書を定めた。
- エ 土地で耕作する農民が検地帳に記録され、荘園領主のもっていた土地の権利が失われた。

5 下線部⑤について、真一さんは、18世紀以降の江戸時代の農村は、豊かな農民がいる一方、小作人となる農民が増えるなど、農村内の経済的格差が拡大したことを知り、資料A、Bを作成しました。18世紀以降の江戸時代の農村において、小作人となる農民が増えた理由を、資料A、Bをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料A 18世紀ごろの農村について

- 備中ぐわや千歯こきなど農具が改良されるとともに、農民が農具を購入するようになった。
- 農民は、綿花や紅花などの商品作物を生産し、それを売ることによって、貨幣を手に入れることができた。
- 商品作物をつくるためには、干鰯や油かすなどの高価な肥料が必要であった。

資料B 18世紀後半のある農民のおもな支出

| | | |
|------|---|--------|
| 農具代 | 銀 | 491匁 |
| 肥料代 | 銀 | 2,077匁 |
| 生活費 | 銀 | 552匁 |
| その他 | 銀 | 730匁 |
| 支出合計 | 銀 | 3,850匁 |

(注) 匁(もんめ)は銀貨の単位である。

(「西成郡史」より作成)

第 四 問 哲平さんは、社会科の授業で、「財政と私たちの生活」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1~4の問いに答えなさい。

資料A 財政と私たちの生活

私たちが、暮らしやすい豊かな生活を送るため、政府や地方公共団体は、家計や企業から税金を集め、それを必要な政策にあてる、①**財政**とよばれる経済活動をしています。財政では、②**税金**などを財源として、社会保障の制度を整備したり、③**公共サービス**や**社会資本**を提供したりしています。公共サービスや社会資本は私たちの生活に不可欠ですが、④**それらの維持や改善が課題**となっています。

- 下線部①について、日本国憲法で定められた、国の予算を議決する機関として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 内閣 イ 最高裁判所 ウ 日本銀行 エ 国会
- 下線部②について、国や地方公共団体の政策の財源となる、税金と、その納め方による分類の組み合わせとして、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 所得税 - 直接税 イ 消費税 - 直接税
 ウ 法人税 - 間接税 エ 市町村民税 - 間接税
- 下線部③について、公共サービスや社会資本である、道路や公共施設などの提供については、地方公共団体が大きな役割を果たしています。地方公共団体の財源のうち、教育費や道路の維持費など、特定の事業に対し、国から使い道が決められて支給されるものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 地方税 イ 国債費 ウ 地方交付税交付金 エ 国庫支出金
- 下線部④について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 (1) 地域の生活環境の改善や地方公共団体の政治について、条例の制定や廃止、議会の解散、監査などを、首長や選挙管理委員会、監査委員に求める、直接民主制の考え方にもとづいた権利を何というか、書きなさい。
 (2) 哲平さんは、社会資本の維持や改善について調べを進めるなかで、岐阜県の取り組みを知り、資料B～Dを作成しました。この取り組みは、社会資本の維持や改善にどのような効果があったと考えられるか、資料B～Dをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料B 岐阜県の取り組みについて

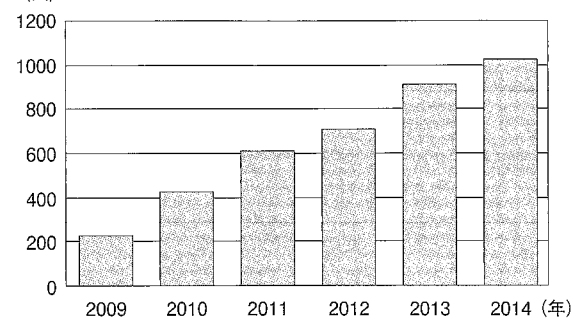
2009年からはじまった取り組みで、安全で快適な道路を維持するため、岐阜県が、応募してきた県民を、「社会基盤メンテナンスサポーター」として委嘱する。「社会基盤メンテナンスサポーター」は無償のボランティア活動を行う。

(注) 委嘱とは、特定の仕事を頼むこと。

資料C 社会基盤メンテナンスサポーターについて

社会基盤メンテナンスサポーターとして委嘱された県民は、危険箇所を早期に発見できるように、普段利用している道路を担当区域とする。担当区域の道路や側溝の損傷、落石、穴など、補修が必要な場所を県へ情報提供する。

資料D 岐阜県の社会基盤メンテナンスサポーターの委嘱者数

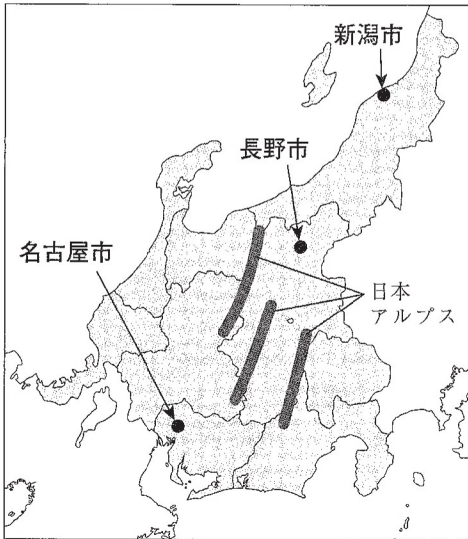


(資料B～Dいずれも「岐阜県ホームページ」などより作成)

第五問 絵理さんは、社会科の授業で、「中部地方の自然環境と人々の暮らし」について調べました。次の1～3の問いに答えなさい。

1 絵理さんは、中部地方の自然環境と産業とのかかわりを調べ、資料Aを作成しました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料A 中部地方の自然環境と産業とのかかわり



中部地方は、①特色が異なる3つの地域に分けることができます。

- 豪雪地帯を抱える北陸地域には、日本でも有数の米の産地となっている平野が広がっています。また、副業から発達した織物や漆器などが伝統産業として受け継がれています。
- 中央高地には、日本アルプスなどに囲まれた盆地が多くあり、高地の冷涼な気候などを生かした高原野菜の産地となっています。
- 東海地域の台地や砂丘が多い半島では、用水路が整備され、野菜や花を栽培する園芸農業がさかんです。また、名古屋市を中心とした②中京工業地帯が形成されています。

(1) 下線部①について、絵理さんは、中部地方の気候を知るために、資料A中に示した新潟市、長野市、名古屋市の3つの市の気温と降水量を調べ、資料Bを作成しました。3つの市と、資料B中のグラフX～Zの組み合わせとして、正しいものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 3つの市の気温と降水量

著作権の関係により
掲載しておりません。

(「理科年表2021」より作成)

- ア X - 新潟市 Y - 長野市 Z - 名古屋市
- イ X - 新潟市 Y - 名古屋市 Z - 長野市
- ウ X - 長野市 Y - 名古屋市 Z - 新潟市
- エ X - 名古屋市 Y - 新潟市 Z - 長野市

(2) 下線部②について、この工業地帯について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 内陸部にあり、高速道路などで生産物を大都市へ輸送することが可能な、食料加工品や印刷物などの比較的小型で軽量の製品を製造する工場が多くみられる。
- イ 以前は、周辺地域での石炭の産出による鉄鋼業がさかんであったが、現在は環境技術を用いたリサイクル工場が建設されるなど環境保全に関する産業が発展している。
- ウ かつては、豊富な地下水と綿花の生産地であることを生かした繊維工業がさかんであったが、現在は自動車の生産がさかんに行われている。
- エ 多くの島々があるこの地域は、古くから海上交通が発達し、現在は、島を結ぶ高速道路が整備されており、臨海部に石油化学コンビナートや製鉄所がみられる。

2 絵理さんは、中央高地の山脈に囲まれた盆地のようすについて調べ、資料Cを作成しました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料C 中央高地の山脈に囲まれた盆地のようす

中央高地は、日本アルプスである、木曾山脈・赤石山脈・**a**に囲まれた盆地が多く、また、河川によってつくられた、砂や大きな石の混じった扇状地がみられます。扇状地は、地表面に水がたまりにくい地形のため水田には適さず、③長野県などの盆地では、第二次世界大戦前までくわの栽培がさかんでした。現在は、くわ畑であった場所の多くが、**b**に変わっています。高速道路などの交通網が整備されたことで、大都市にも商品を短時間で出荷できるようになりました。

(1) 資料C中の **a**、**b** にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 飛騨山脈 b - 果樹園 イ a - 飛騨山脈 b - 茶畑
 ウ a - 日高山脈 b - 茶畑 エ a - 日高山脈 b - 果樹園

(2) 下線部③について、長野県では、明治時代の殖産興業政策により、製糸工場が設置されたことを背景として、くわ畑が広がりました。明治時代の日本のようすについて述べた文として、あてはまらないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

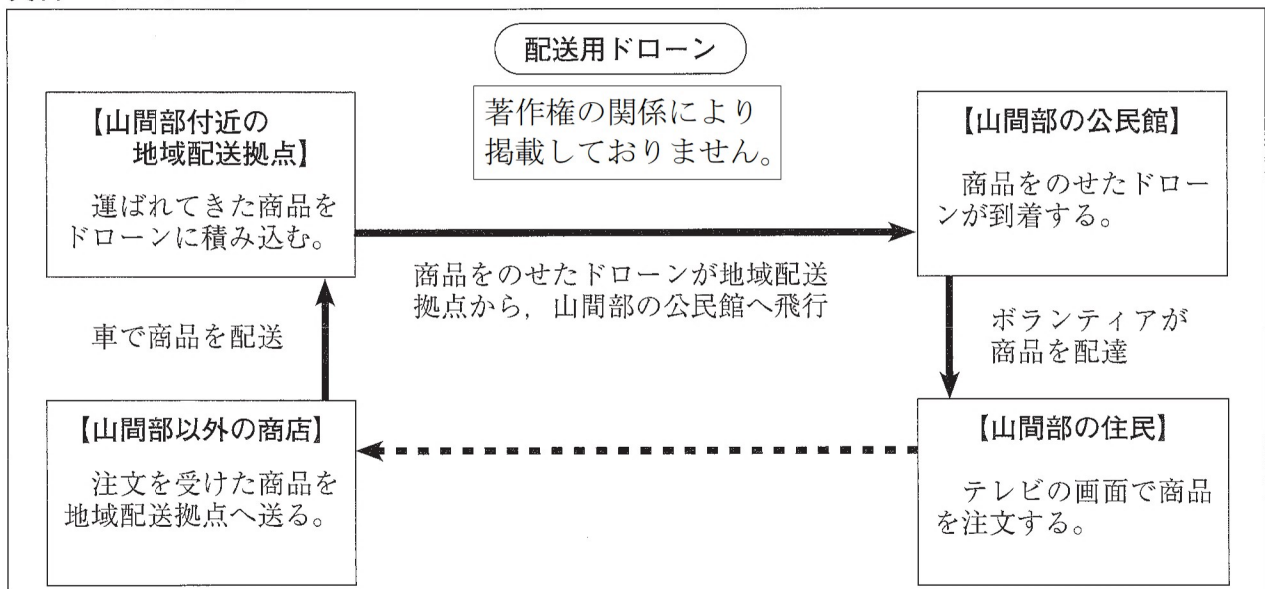
- ア 徴兵令が出され、20歳以上の男子が兵役を義務づけられた。
 イ 教育機関として、農村に寺子屋が増え、読み、書きなどが学ばれた。
 ウ 日清戦争が起き、戦争の翌年に下関条約が結ばれた。
 エ 北海道に開拓使が設置され、農地の開墾や道路の建設などが行われた。

3 絵理さんは、山地の多い長野県に着目して、自然環境と人々の暮らしを調べたところ、長野県伊那市が行っている取り組みを知り、資料D、Eを作成しました。この伊那市の取り組みは、どのようなことを目的として行われていると考えられるか、資料D、Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料D 長野県伊那市の山間部について

- 生活道路の標高の高低差が大きく、移動が大変である。
- 都市部よりも配送にかかる費用が高いことに加え、配送の担い手が不足している。
- 後継者不足や従業員の高齢化などのため、閉店する店舗もあり、店舗数が減少を続けている。
- 自家用車をもつ消費者は、山間部以外で買い物をするようになっている。

資料E 長野県伊那市の取り組み



(資料D、Eともに「伊那市ホームページ」などより作成)

第六問 周平さんは、社会科の授業で、「日本の文化の発展」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 日本の文化の発展

日本は、古くから中国や朝鮮半島など、外国から伝わった文化を受け入れながら、①独自の文化を築いてきました。特に、②19世紀半ばから20世紀半ばは、技術革新にともなって日本の社会や文化が大きな変化を見せた時期でした。その後、第二次世界大戦での敗戦により、GHQの占領下におかれたことで、アメリカの文化が日本各地に広がりました。さらに、高度経済成長期には、自動車や電化製品の普及など、日本人の生活様式も変化しました。現在、③情報化や少子高齢化、グローバル化など、日本社会が大きく変化していますが、その中で、④伝統文化を守りながら、時代の変化に対応し、新しい文化を創造することが求められています。

- 1 下線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 - (1) 平安時代、唐風の文化を基礎としながら、貴族を中心に日本の風土や文化に合わせた独自の文化が生まれました。この文化を何というか、書きなさい。
 - (2) 室町時代に生まれた文化には、現代まで引き継がれている文化があります。猿楽などの要素を取り入れながら室町時代に生まれた文化として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
 ア 能 イ 歌舞伎 ウ 川柳 エ 浮世絵
- 2 下線部②について、この期間の日本と外国とのかかわりについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。
 ア 日中戦争の長期化で、軍需品の生産が優先され、生活必需品は配給制になった。
 イ 第一次世界大戦後、都市には西洋風の文化住宅が建てられるとともに、ラジオ放送がはじまった。
 ウ 欧米諸国にならった近代化政策がとられるとともに、太陽暦が採用された。
- 3 下線部③について、周平さんは、情報化の進展と文化の広がりについて調べ、資料Bを作成しました。資料B中の にあてはまる語句として、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 情報化の進展について

情報通信技術の発達は、インターネットや、ソーシャルメディアである などに接する機会を増やし、私たちの暮らしを大きく変えました。また、インターネットの発達は、情報化をさらに進展させ、時間や場所に関係なく情報を発信することや、共有することができるなど、文化の広がりをより多様なものにしています。

- ア WHO イ SNS ウ NGO エ AI

- 4 下線部④について、周平さんは、伝統文化について調べを進めるなかで、九州地方の伝統的なある祭りに関する取り組みを知り、資料C～Eを作成しました。この取り組みのねらいとして考えられることを、資料C～Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 伝統的なある祭りについて

この祭りは、380年にわたり続けられており、獅子の踊りや、みこしなど、約1,700人が神社まで歩く行列が見所となっている。

資料D 伝統的なある祭りに関する取り組み

- 祭りの開催期間中に、子ども用の祭り道具をもって、神社まで歩く、子どもが主役の行列を企画した。
- 地元の親子を対象に、実際に祭りで使用される道具に触れることができる体験教室を実施した。

資料E 取り組みに参加した子どもの感想

- (子どもが主役の行列に参加して)「緊張したけれど、最後まで頑張ることができた。これからもうまくできるように練習したい。」
- (子どもが主役の行列に参加して)「正式な行列でも生き生きとした動きを披露したい。」
- (体験教室に参加して)「今日の体験教室で祭りに興味が湧いた。祭りに参加したい。」

(資料C～Eいずれも「八代市ホームページ」より作成)

| 備考欄 | 配点 | | 第一問 |
|-----|----|-------|-----------|
| | 15 | | |
| | 3 | (1) | ウ |
| | 3 | 1 (2) | ア |
| | 3 | (3) | ア |
| | 3 | 2 (1) | イ |
| | 3 | (2) | 男女雇用機会均等法 |

| 備考欄 | 配点 | | 第二問 |
|--------------|----|-------|---|
| | 17 | | |
| | 3 | 1 | エ |
| | 3 | (1) | イ |
| 「E.U」も正答とする。 | 3 | 2 (2) | ヨーロッパ連合 |
| | 3 | 3 | ウ |
| | 5 | 4 | (例) ベトナムでは、経済成長のために優先する産業に対して、社会資本の整った工業団地を整備し、税金の免除などの優遇措置をとり、積極的に誘致することで、外国企業からの投資が増加し、経済活動が活発になったため。 |

| 備考欄 | 配点 | | 第三問 |
|-----|----|---|---|
| | 17 | | |
| | 3 | 1 | 口分田 |
| | 3 | 2 | イ |
| | 3 | 3 | ウ |
| | 3 | 4 | エ |
| | 5 | 5 | (例) 農具や肥料の購入で、農業に貨幣が必要になり、商品作物の生産などで必要な貨幣を得られなかった農民が、土地を手放したから。 |

| 備考欄 | 配点 | | 第四問 |
|-----|----|-------|--|
| | 17 | | |
| | 3 | 1 | エ |
| | 3 | 2 | ア |
| | 3 | 3 | エ |
| | 3 | (1) | 直接請求権 |
| | 5 | 4 (2) | (例) 普段利用している道路の危険箇所を、早期に発見できるしくみが整ったことに加え、安全で快適な道路の維持に関わろうとする県民が増えたこと。 |

| 備考欄 | 配点 | | 第五問 |
|-----|----|-------|---|
| | 17 | | |
| | 3 | 1 (1) | イ |
| | 3 | (2) | ウ |
| | 3 | 2 (1) | ア |
| | 3 | (2) | イ |
| | 5 | 3 | (例) 商店と連携し、ドローンを活用した新たな配送の方法を取り入れることで、市内の流通の活性化を図り、山間部の住民が、買い物などで不便なく生活できるようにすることを目指している。 |

| 備考欄 | 配点 | | 第六問 |
|-----|----|-------|---|
| | 17 | | |
| | 3 | 1 (1) | 国風文化 |
| | 3 | (2) | ア |
| | 3 | 2 | ウ → イ → ア |
| | 3 | 3 | イ |
| | 5 | 4 | (例) 子どもを主役とした行列や、親子を対象とした体験教室への参加を通して、子どもに伝統的な祭りへの親しみをもってもらうとともに、地域で長く続く祭りを次の世代へ引き継ごうとしている。 |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則の知識、事象を数学化して解釈・表現・処理する技能及びそれらを活用して事象や数量、図形について数学的に考察し表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、数と式についての基礎的な知識と計算力、二つのグラフの交点の座標から反比例の比例定数を求める力及び箱ひげ図からデータの分布の傾向を適切に読み取る力をみようとした。

第二問では、扇形の弧の長さを求める力、基本的な図形の性質から面積を求める力、関数 $y=ax^2$ の変化の割合を求める力、伴って変わる二つの数量の関係を論理的に考察し処理する力、標本調査の結果から母集団の傾向を捉え考察する力、与えられた事象から規則性を見いだす力、規則性を式で表現する力及び文字式を利用し与

えられた条件を満たす自然数について考察する力をみようとした。

第三問では、生徒が問題を考える授業場面を素材とし、起こり得る場合を順序よく整理し考察する力、底辺の長さと三角形の面積の関係から三角形の面積を二等分する直線を考察する力、二点を通る直線の式を求める力及び図形の性質に着目して直線の式や座標を用い、条件を満たす点の座標を求める力をみようとした。

第四問では、二組の辺の比が等しいことと対頂角の性質から二つの三角形が相似であることを証明する力、相似な三角形に着目して線分の長さを求める力、三平方の定理を用いて線分の長さを求める力及び複数の相似な三角形を見いだして論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞数と式、関数、データの活用の基礎事項についての問題

自然数を素数の積で表すことやデータの分布の傾向を的確に捉えることに課題

3 自然数を素数の積で表す問題。a層とb・c層の得点率の差が第一問の中で特に大きかった。b・c層では素数の積で表さずに「2、5、11」と並べただけの誤答が多く、素因数分解の定義が十分に理解できていないといえる。自然数を素数の積で表す問題については、令和4年度全国学力・学習状況調査の本県の調査結果をみると正答率が低く、この問題でも正答率は64.3%にとどまっている。自然数を素数の積で表すことにより、約数、倍数などの整数の性質についての理解が深まり、

根号を含む式の計算などにつなげることができる。数学の学びを進めていく上で必要な知識及び技能であるので確実に習得させたい。

8 箱ひげ図から複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取る問題。C組の箱ひげ図について、箱が2冊以上8冊以下の位置にあることに着目して、そこにデータがたくさん集中していると誤解したと推察されるエを選択したものが全体の46.0%を占め、正答よりも多かった。また、四分位範囲と範囲を混同したと推察されるイを選択したのも全体の12.3%であった。箱ひげ図からデータの分布の傾向を読み取って考察したり、判断したことを説明したりする活動を充実させ、データの分析において箱ひげ図を効果的に活用できるよう工夫していきたい。

<第二問> 4領域の基礎事項についての問題

数量の関係を考察し処理すること、条件を見だし式に表現すること、性質を見だし文字式で一般的に表現することに課題

- 2 (2) 伴って変わる二つの数量の関係を考察し、処理する問題。誤答をみると、グラフから $y=18$ となるおおよその x の値を読み取った「8.5 秒後」など、図のグラフのみで導いたと推察されるものが多かった。ICTを活用し複数のグラフを視覚的に捉えてから条件を数学的に表現させるなど、数量の関係を考察できる力の育成を図りたい。
- 3 標本調査の結果を基に、母集団の傾向を推定する問題。誤答をみると、 $x:300 = 80:40$ と立式し計算した「 $x=600$ 」など、問題文にある条件を全て読み取ることができず、必要な条件を用いずに計算したと推察されるものが多かった。問題文から条件を見だし、式としてどう表現できるかをグループで考えさせる活動や立式までの過程を説明させる活動を取り入れるなどして、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力の育成を図りたい。
- 4 (2) (7) 具体的な事象の中の数量の関係を文字式で表現する問題。a層とb・c層の得点率の差が大きく、誤答をみると、「 $3n$ 」を含む式に表現できているものはほぼ見られなかった。各行のマスに入っている三つの自然数のうち、最も大きいものが3の倍数になることが見いだせなかったことや3の倍数を文字式で表現できなかったことが要因と推察される。生徒同士が、具体的な数で確認しながら性質を見だしたり、文字式で一般的に表現する方法を検討したりする場面を設けるなど、生徒を主体とした活動を大切に、文字式を具体的な場面で活用できるよう指導していきたい。

<第三問> 図形、関数、確率の融合問題

数学の事象を的確に捉え判断すること、統合的・発展的に考察することに課題

- 1 (2) 起こり得る全ての場合を整理し条件に合う確率を求める問題。 $a=1$ 、 $b=2$ と $a=2$ 、 $b=4$ の場合を見落としたと推察される誤答「 $1/4$ 」が全体の30.5%を占めた。樹形図を用いて一つ一つの事象を丁寧に数え上げ、数え漏れなどがないかの確認を行うことの重要性を意識させるようにしたい。
- 2 (1) 頂点を通り、三角形の面積を二等分する直線について考察する問題。 $\triangle ABC$ が二等辺三角形ではないという条件を見落とし、図から判断したと推察されるア、イ、ウを選択したものが全体の48.0%を占め、正答率は49.3%にとどまった。他に分かることはないか、条件を変えたらどうなるかなど解決の過程を振り返る機会を適切に設けることで、新たな気付きや発見を促し、統合的・発展的に考察する力が養われるよう指導していきたい。

<第四問> 図形についての問題

図形の性質を正しく適用すること、論理的に筋道を立てて表現することに課題

- 1 二つの三角形が相似であることを証明する問題。 $BF \parallel DC$ を証明せずに平行線の錯角を利用している誤答や、 $DE:FE=CE:BE$ の根拠が不十分である誤答が多かった。また、「 $\angle E$ は共通」のような誤った表現をしている解答も見受けられた。解決の過程において、記述内容は正確か、根拠が妥当かを確かめる機会を設けたり、根拠を明らかにして説明することを意識させたりするなど、飛躍がなく、論理的に筋道を立てて表現できる力を育成していきたい。

数 学

正答率・無答率・得点率・その他

| 問題 | | | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率 | 調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~46点) |
|-----|---|--------------------|-------|-------|-------|--|
| 第一問 | 1 | 計算 整数の加減 | 98.3% | 0.0% | 98.3% | a:100.0% b:98.6% c:96.5% |
| | 2 | 計算 分数の除法 | 89.3% | 0.5% | 89.3% | a:95.7% b:95.7% c:77.8% |
| | 3 | 計算 素因数分解 | 64.3% | 6.3% | 66.5% | a:95.4% b:68.8% c:41.2% |
| | 4 | 計算 式の変形 | 76.3% | 4.5% | 77.2% | a:95.4% b:87.5% c:52.6% |
| | 5 | 計算 連立方程式 | 82.3% | 4.3% | 83.4% | a:94.8% b:89.4% c:68.5% |
| | 6 | 計算 根号を含む式 | 85.3% | 2.8% | 85.3% | a:100.0% b:94.3% c:64.6% |
| | 7 | 求値 反比例の比例定数 | 72.8% | 5.5% | 72.9% | a:100.0% b:83.0% c:41.5% |
| | 8 | 多肢選択 箱ひげ図 | 39.5% | 0.8% | 39.5% | a:62.6% b:43.3% c:17.4% |
| 第二問 | 1 | (1) 求値 弧の長さ | 55.3% | 5.5% | 55.3% | a:93.0% b:64.5% c:16.0% |
| | | (2) 求値 図形の面積 | 30.0% | 29.3% | 30.2% | a:69.6% b:26.1% c:2.8% |
| | 2 | (1) 求値 変化の割合 | 65.0% | 7.0% | 65.3% | a:96.5% b:72.6% c:33.3% |
| | | (2) 求値 関数の利用 | 38.5% | 11.5% | 38.5% | a:67.0% b:42.6% c:11.8% |
| | 3 | 求値 標本調査 | 26.8% | 14.3% | 26.8% | a:49.6% b:20.6% c:14.6% |
| | 4 | (1) 求値 規則性 | 71.5% | 1.5% | 73.4% | a:87.8% b:69.0% c:66.2% |
| | | (7) 表現 文字式 | 34.3% | 29.0% | 34.9% | a:72.5% b:32.9% c:6.9% |
| | | (4) 求値 一次方程式 | 18.5% | 48.8% | 18.5% | a:46.1% b:12.8% c:2.1% |
| 第三問 | 1 | (1) 求値 場合の数 | 66.8% | 2.0% | 66.8% | a:91.3% b:75.9% c:38.2% |
| | | (2) 求値 確率 | 30.8% | 7.3% | 31.4% | a:60.0% b:31.1% c:8.8% |
| | 2 | (1) 多肢選択 面積の二等分 | 49.3% | 2.0% | 49.3% | a:78.3% b:51.8% c:23.6% |
| | | (2) 式の決定 直線の式 | 33.8% | 29.0% | 33.9% | a:67.0% b:33.2% c:8.3% |
| | | (3) 求値 点の座標 | 3.8% | 56.3% | 4.5% | a:12.6% b:2.4% c:0.0% |
| 第四問 | 1 | 証明 三角形の相似 | 27.0% | 10.8% | 44.5% | a:76.1% b:48.9% c:14.8% |
| | 2 | 求値 線分の長さ | 62.3% | 12.0% | 62.6% | a:93.0% b:70.9% c:30.2% |
| | 3 | (1) 求値 三平方の定理 | 29.5% | 30.3% | 29.5% | a:58.3% b:25.5% c:10.4% |
| | | (2) 求値 四角形の面積 | 1.8% | 67.5% | 1.8% | a:6.1% b:0.0% c:0.0% |
| 計 | | | | | 45.5% | a:69.1% b:47.3% c:24.9% |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和5年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
数 学

第一問 次の1～8の問いに答えなさい。

1 $-9+2$ を計算しなさい。

2 $-15 \div \left(-\frac{5}{3}\right)$ を計算しなさい。

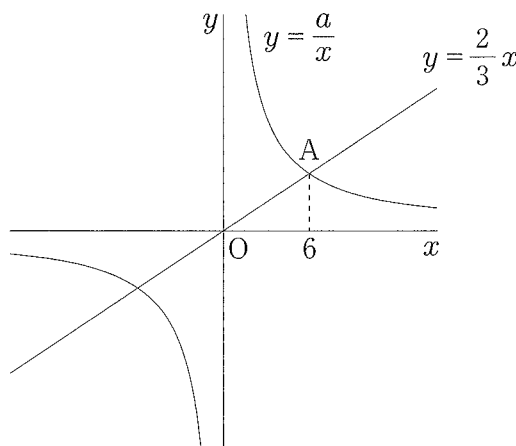
3 110 を素因数分解しなさい。

4 等式 $4a - 9b + 3 = 0$ を a について解きなさい。

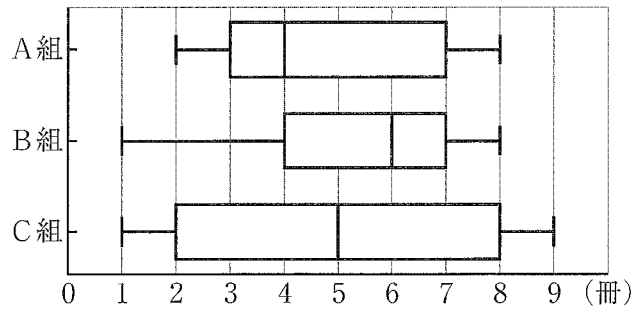
5 連立方程式 $\begin{cases} 3x - y = 17 \\ 2x - 3y = 30 \end{cases}$ を解きなさい。

6 $\sqrt{54} + \frac{12}{\sqrt{6}}$ を計算しなさい。

7 下の図のように、比例 $y = \frac{2}{3}x$ のグラフと反比例 $y = \frac{a}{x}$ のグラフとの交点のうち、 x 座標が正である点を A とします。点 A の x 座標が 6 のとき、 a の値を求めなさい。



- 8 ある学年のA組, B組, C組は, どの組にも35人の生徒が在籍しています。これら3つの組の各生徒を対象に, 1か月間に図書室から借りた本の冊数を調べました。下の図は, 組ごとに, 各生徒が借りた本の冊数の分布のようすを箱ひげ図に表したものです。この箱ひげ図から必ずいえることを, あとのア~エから1つ選び, 記号で答えなさい。



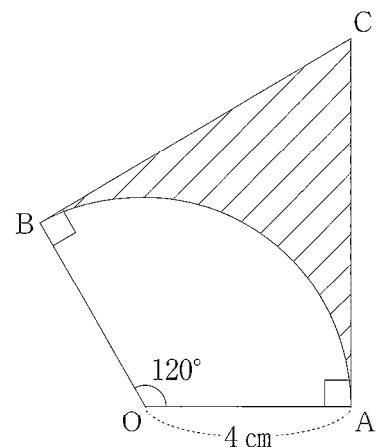
- ア 第1四分位数は, A組とB組で同じである。
 イ 四分位範囲がもっとも小さいのは, A組である。
 ウ 借りた本の冊数が6冊以上である人数は, B組がもっとも多い。
 エ 借りた本の冊数が2冊以上8冊以下である人数は, C組がもっとも多い。

第 二 問 次の1~4の問いに答えなさい。

- 1 下の図のような, 半径が4 cm, 中心角が 120° のおうぎ形OABがあります。点Aを通過して線分OAに垂直な直線と, 点Bを通過して線分OBに垂直な直線をひき, その交点をCとします。次の(1), (2)の問いに答えなさい。ただし, 円周率を π とします。

- (1) \widehat{AB} の長さを求めなさい。

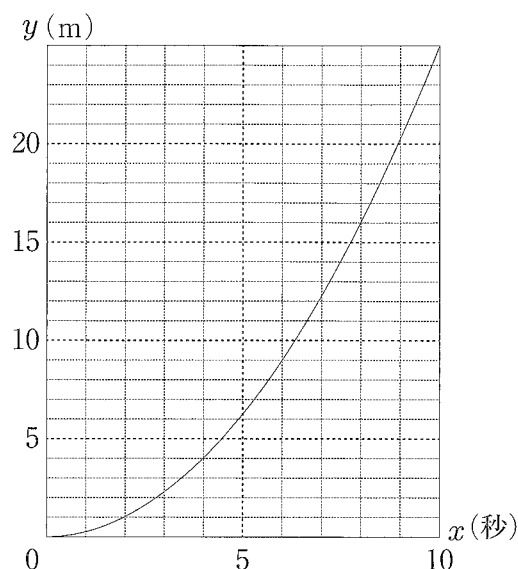
- (2) \widehat{AB} と線分AC, 線分BC とで囲まれた斜線部分の面積を求めなさい。



2 哲也さんと舞さんは、坂の途中にある A 地点からボールを転がしたときの、ボールの転がる時間と距離の関係を調べました。その結果、ボールが転がり始めてから x 秒間に転がる距離を y m としたとき、 x と y の関係は、 $y = \frac{1}{4}x^2$ であることがわかりました。右の図は、そのときの x と y の関係を表したグラフです。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ について、 x の値が 0 から 6 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。



- (2) 舞さんは、一定の速さで坂を下っています。舞さんが A 地点を通過するのと同時に、哲也さんは、A 地点からボールを転がしました。ボールが転がり始めてから 6 秒後にボールは舞さんに追いつき、ボールが舞さんを追いこしてからは、舞さんとボールの間の距離はしだいに大きくなりました。

ボールが舞さんを追いこしてから、舞さんとボールの間の距離が 18m になったのは、ボールが転がり始めてから何秒後ですか。

3 赤球と白球がたくさん入っている箱の中に、赤球が何個あるかを推定します。最初に箱の中にあった、赤球と白球の個数の比は 4:1 であったことがわかっています。この箱に白球を 300 個追加し、箱の中の球をよくかき混ぜました。そのあと、120 個の球を無作為に抽出したところ、赤球が 80 個ありました。

この結果から、最初に箱の中にあった赤球は、およそ何個と考えられますか。

4 下の図のように、100行3列のマス目がある表に、次の【規則】にしたがって、1から300までの自然数が1から順に、1つのマスに1つずつ入っています。ただし、表の中の・は、マスに入る自然数を省略して表したものです。

【規則】

① 1行目は、1列目に1、2列目に2、3列目に3を入れる。

② 2行目以降は、1つ前の行に入れたもっとも大きい自然数より1大きい数から順に、次のおり入れる。
 偶数行目は、3列目、2列目、1列目の順で数を入れる。
 奇数行目は、1列目、2列目、3列目の順で数を入れる。

| | 1 列 目 | 2 列 目 | 3 列 目 |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 1行目 | 1 | 2 | 3 |
| 2行目 | 6 | 5 | 4 |
| 3行目 | 7 | 8 | 9 |
| 4行目 | 12 | 11 | 10 |
| ⋮ | ~~~~~ | | |
| n 行目 | ・ | ・ | ・ |
| ⋮ | ~~~~~ | | |
| 99行目 | 295 | 296 | 297 |
| 100行目 | 300 | 299 | 298 |

たとえば、8は、3行目の2列目のマスに入っています。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 45は、何行目の何列目のマスに入っていますか。

(2) n 行目のマスに入っている3つの自然数のうち、もっとも小さいものをPとします。

次の(ア)、(イ)の問いに答えなさい。ただし、 n は1以上100以下とします。

(ア) 自然数Pを n を使った式で表しなさい。

(イ) n が2以上のとき、 n 行目の1つ前の行を $(n-1)$ 行目とします。 $(n-1)$ 行目のマスに入っている3つの自然数のうち、もっとも大きいものをQとします。 $P+Q=349$ のとき、 n 行目の3列目のマスに入っている自然数を求めなさい。

第三問 数学の授業で、生徒たちが、直線 $y=x$ と三角形を素材にした応用問題を考えることになりました。

次の 1, 2 の問いに答えなさい。

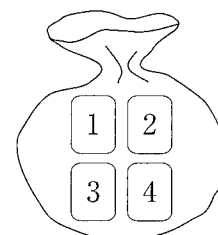
- 1 京子さんと和真さんは、確率を求める問題をつくらうとしています。2人は、図 I のような、1, 2, 3, 4 の数字が 1 つずつ書かれた 4 枚のカードが入った袋を使い、次の【操作】をすることを考え、それをもとに、 の会話をしています。

あとの(1), (2)の問いに答えなさい。

【操作】

- ・袋の中のカードをよくかき混ぜて、カードを 1 枚取り出し、カードに書かれた数を確認してからもとにもどす。この作業を 2 回行う。
- ・1 回目に取り出したカードに書かれた数を a として、直線 $y=x$ 上に (a, a) となる点 P をとる。
- ・2 回目に取り出したカードに書かれた数を b として、 x 軸上に $(b, 0)$ となる点 Q をとる。
- ・原点 O, 点 P, 点 Q をそれぞれ結んで、 $\triangle OPQ$ をつくる。

図 I



京子さん：この【操作】をすると、取り出すカードによって、さまざまな形の $\triangle OPQ$ ができるね。

和真さん：たとえば、取り出したカードに書かれた数が、1 回目が 2 で、2 回目が 3 のときの $\triangle OPQ$ は図 II のようになるよ。他の場合もやってみよう。

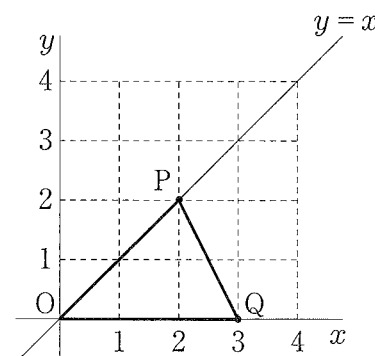
京子さん：すべての場合をかいたけれど、この中に、合同な三角形の組はないようだね。つまり、

【操作】にしたがって $\triangle OPQ$ をつくる時、 $\triangle OPQ$ は全部で ① 通りあるね。

和真さん： $\triangle OPQ$ が直角三角形になる場合があったよ。この確率を求める問題にしよう。

- (1) ① にあてはまる正しい数を答えなさい。

図 II



- (2) 【操作】にしたがって $\triangle OPQ$ をつくる時、 $\triangle OPQ$ が直角三角形になる確率を求めなさい。

2 優矢さんと志保さんは、三角形の面積を2等分する問題をつくろうとしています。2人は、直線 $y=x$ 上の2点 $(4, 4)$, $(1, 1)$ をそれぞれ A, B , x 軸上の点 $(4, 0)$ を C とし、3点 A, B, C をそれぞれ結んで、 $\triangle ABC$ をつくりました。図Ⅲは、直線 $y=x$ と $\triangle ABC$ をかいたものです。2人は、図Ⅲを見ながら、次の の会話をしています。

あとの(1)~(3)の問いに答えなさい。

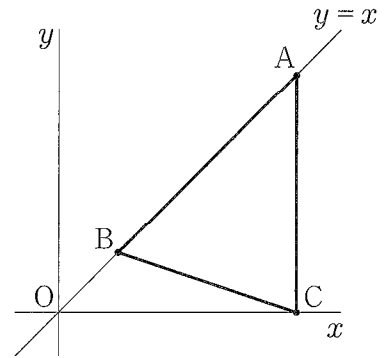
優矢さん：頂点 A を通り、 $\triangle ABC$ の面積を2等分する直線は、 $\triangle ABC$ が二等辺三角形ではないようだから、② だね。

志保さん：頂点を通らない直線で $\triangle ABC$ の面積を2等分する場合も考えてみようよ。

優矢さん：直線 $y=x$ 上の点 $(3, 3)$ を D として、点 D を通り、 $\triangle ABC$ の面積を2等分する直線だとどうなるかな。

志保さん：その直線は 辺 BC と交わりそうだよ。その直線と 辺 BC との交点の座標を求める問題にしよう。

図Ⅲ



(1) ② にあてはまるものとして正しいものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア $\angle BAC$ の二等分線

イ 辺 BC の垂直二等分線

ウ 頂点 A から辺 BC への垂線

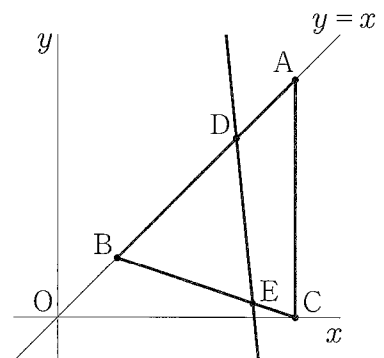
エ 頂点 A と辺 BC の中点を通る直線

(2) 下線部について、2点 B, C を通る直線の式を求めなさい。

(3) 図Ⅳは、優矢さんと志保さんが、図Ⅲにおいて、点 D を通り、 $\triangle ABC$ の面積を2等分する直線をかき、その直線と 辺 BC との交点を E としたものです。

点 E の座標を求めなさい。

図Ⅳ

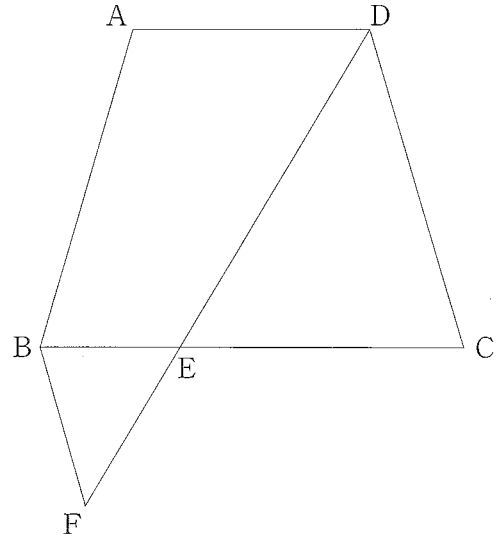


第 四 問 図 I のような、 $AB=DC=7\text{ cm}$ 、 $AD=5\text{ cm}$ 、 $BC=9\text{ cm}$ 、 $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ があります。辺 BC 上に、 $BE=3\text{ cm}$ となる点 E をとります。また、直線 DE 上に、 $DE:EF=2:1$ となる点 F を、直線 BC に対して点 D と反対側にとり、点 B と点 F を結びます。

次の 1～3 の問いに答えなさい。

図 I

1 $\triangle CDE$ の $\triangle BFE$ であることを証明しなさい。



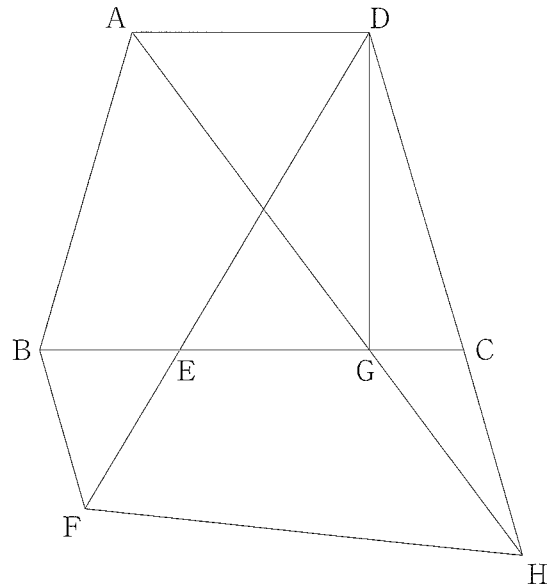
2 線分 BF の長さを求めなさい。

3 図 II は、図 I において、点 D から辺 BC に垂線をひき、辺 BC との交点を G としたものです。また、直線 AG と直線 DC との交点を H とし、点 F と点 H を結びます。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

図 II

(1) 線分 DG の長さを求めなさい。



(2) 四角形 $BFHC$ の面積を求めなさい。

| 備考欄 | 配 点 | | 第 一 問 |
|-----|-----|---|----------------------------------|
| | 26 | | |
| | 3 | 1 | -7 |
| | 3 | 2 | 9 |
| | 3 | 3 | $2 \times 5 \times 11$ |
| | 3 | 4 | $a = \frac{9}{4}b - \frac{3}{4}$ |
| | 3 | 5 | $x = 3, y = -8$ |
| | 3 | 6 | $5\sqrt{6}$ |
| | 4 | 7 | 24 |
| | 4 | 8 | ウ |

| 備考欄 | 配 点 | | 第 二 問 |
|-----|-----|---------|---|
| | 32 | | |
| | 3 | 1 | (1) $\frac{8}{3}\pi$ [cm] |
| | 5 | | (2) $16\sqrt{3} - \frac{16}{3}\pi$ [cm ²] |
| | 3 | 2 | (1) $\frac{3}{2}$ |
| | 5 | | (2) 12 [秒後] |
| | 5 | 3 | [およそ] 1200 [個] |
| | 3 | 4 | (1) 15 [行目の] 3 [列目] |
| | 3 | | (ア) $3n - 2$ |
| | 5 | (イ) 177 | |

| 備考欄 | 配 点 | | 第 三 問 |
|-----|-----|---|---------------------------------------|
| | 21 | | |
| | 3 | 1 | (1) 16 |
| | 5 | | (2) $\frac{3}{8}$ |
| | 3 | 2 | (1) 工 |
| | 4 | | (2) $y = -\frac{1}{3}x + \frac{4}{3}$ |
| | 6 | | (3) $(\frac{13}{4}, \frac{1}{4})$ |

| 備考欄 | 配 点 | | 第 四 問 | | |
|------------------|---|---|---|---|----------------------|
| | 21 | | | | |
| 採点基準と配点は各学校で定める。 | 6 | 1 | (例) $\triangle CDE$ と $\triangle BFE$ において 仮定から $DE : FE = 2 : 1 \dots \textcircled{1}$ $BC = 9 \text{ cm}$, $BE = 3 \text{ cm}$ より $CE = 6 \text{ cm}$ であるから $CE : BE = 2 : 1 \dots \textcircled{2}$ $\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$ より $DE : FE = CE : BE \dots \textcircled{3}$ 対頂角は等しいから $\angle CED = \angle BEF \dots \textcircled{4}$ $\textcircled{3}$, $\textcircled{4}$ より, 2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle CDE \sim \triangle BFE$ | | |
| | | | 4 | 2 | $\frac{7}{2}$ [cm] |
| | | | 5 | 3 | (1) $3\sqrt{5}$ [cm] |
| 6 | (2) $\frac{63\sqrt{5}}{4}$ [cm ²] | | | | |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

自然の事物・現象についての知識、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能及び観察、実験などを通して自然の事物・現象について科学的に思考・判断・表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、軟体動物のからだのつくりを調べる観察、梅雨の時期、原子の構造解明に関する資料を素材とし、自然の事物・現象に関する基本的な知識・技能及び自然の事物・現象の規則性や関係性を思考・判断・表現する力をみようとした。

第二問では、タマネギの根を素材とする観察を通して、根のつくりに関する知識、実験操作に関する知識・技能、細胞の変化と成長の関係について思考・判断・表現する力をみ

ようとした。

第三問では、地層に関する調査結果を通して、化石や堆積岩に関する知識及び地層のでき方について思考・判断する力をみようとした。

第四問では、サプリメントに含まれる物質の量の調べ方に関する生徒の会話を通して、化合物、化学変化、濃度に関する知識及び実験で得られた結果を分析して解釈し、サプリメントに含まれるカルシウムの割合について思考・判断する力をみようとした。

第五問では、小球の運動を調べる実験を通して、小球に働く力や小球の運動に関する知識及び得られた結果を分析して解釈し、小球の速さと力学的エネルギーの関係について思考・判断・表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞ 4領域の基礎的・基本的事項についての問題

自然の事物・現象の基本的な知識は定着しているが、知識を活用することに課題

1 (3) 色水が口から入り肛門で排出されるまでに通る器官の順として正しいものを選ぶ問題。色水が胃を通過した後、肝臓を通ると解答したものが26.3%であった。動物のからだのつくりと消化に関わる器官の働きを関連付けて理解させることが大切である。

3 (4) 原子が全体として電気を帯びていない理由を論述する問題。正答率は10.8%で、陽子、電子の数が等しいことのみ記述しているものが誤答の26.5%を占めた。陽子1個、電子1個が持つ電気の量が等しくなければ、数が等しくても電気を持つ可能性がある。対話的な活動を通して、その概念に気付かせたい。

4領域の基本的な知識に関する問題の得点率は60%を超えており、知識は定着していると考えられる。習得した知識を活用し、論理的に説明するなどの活動の充実を図りたい。

＜第二問＞ 生物領域についての問題

観察に関する基本的な技能は身に付いているが、観察の結果を考察することに課題

4 体細胞分裂をしている途中の細胞で、染色体が二つの細胞に分配されたあとの、片方の細胞に含まれる染色体の数を答える問題。「16本」とすべきところを「8本」と答えたものが全体で40.5%、c層では54.2%であった。体細胞分裂では、染色体が複製されて二つの細胞に等しく分配され、元の細胞と同質の二つの細胞ができることを理解できていないといえる。

5 タマネギの根の先端部分と、先端から根元に5mm近い部分の長さの変化を比較し、先端部分の方の変化が大きくなった理由を論述する問題。得点率は32.6%であった。根の先端部分では細胞分裂が活発であることを述べているが、増えた細胞それぞれが大きくなることを述べていないものが多く、観察Ⅰ、Ⅱで得られた結果を関連させて文章で表現することができていない。観察や実験で得られた結果を考察し、説明する活動の充実が求められる。

＜第三問＞地学領域についての問題

調査結果を基に、時間的・空間的な視点で捉え、考えることに課題

- 1 地層が堆積した年代を知ることのできる化石の名称を記述する問題。c層の得点率は48.4%で、a・b層に比べてかなり低かった。a・b層を含めた誤答のほとんどが「示相化石」であり、示準化石と示相化石の区別ができてないと考えられ、具体例を挙げて、その違いを比較しながら理解させるようにしたい。
- 4 (1) 地層の調査結果を基にその地層の特徴について述べた文章の内容が正しくなるように語句を選ぶ問題。①の堆積した年代が最も古い岩石の種類を推定する問題の正答率は93.3%であったが、②の地層の傾きを答える問題の正答率は50.3%となった。図を時間的・空間的な視点で捉え、考えることに課題がある。社会科で学習する地形図の読み取り方と関連させながら、モデルやICTを活用するなど、生徒が科学的に探究できるような指導を行いたい。

＜第四問＞化学領域についての問題

基本的な知識の活用と、複数の結果を関連させて量的な関係を見いだすことに課題

- 1 化合物の化学式を見て3種類の元素からできているものを選ぶ問題。正答率は24.0%であり、全解答の74.5%が「炭酸水素ナトリウム NaHCO_3 」を選んでいった。「炭酸、水素、ナトリウム」と考えたり、炭酸水素ナトリウムの分解と混同したりした可能性が考えられる。元素と物質の違いについて模型を用いて視覚的に捉えさせるなどの工夫が必要である。
- 3 (3) あるサプリメントに含まれるカルシウムの質量の割合を求める問題。正答率は17.5%で、無答率は22.5%と最も高かった。二つの実験で得られた結果を関連させて考察していない誤答が多く見られた。計算して求めた値や解釈が妥当か検討するなど、探究の過程を振り返らせる活動の充実を図りたい。

＜第五問＞物理領域についての問題

実験の結果を分析して解釈し、表現することに課題

- 3 等速直線運動をしている小球の速さを求める問題。a層では得点率が70%を超えたが、c層では2.8%だった。どの層でも0秒から0.50秒までの速さを求めて誤答になったものが多く、実験データの中で必要な情報を判断し分析することに課題があるといえる。
- 5 初め同じ高さにある質量の等しい二つの小球が傾きの異なるレール上を運動するとき、傾きが大きいレール上を運動する小球の速さの方が大きくなることを力学的エネルギー保存の考え方を基に説明する問題。得点率は28.4%であった。運動している二つの小球の高さの違いに着目して、小球が持つ運動エネルギーの大きさに差が生じていることを説明していない解答が多かった。実験の結果を多面的に分析し解釈できるように指導していきたい。

| 問題 | | | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率 | 調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~46点) | |
|----------|---|-------------|------------------|-----------|-------|--|--------------------------------|
| 第一問 | 1 | (1) 多肢選択 | 生物 (動物分類) | 95.0% | 0.0% | 95.0% | a:99.1% b:97.2% c:89.6% |
| | | (2) 語句記述 | 生物 (重要語句) | 75.8% | 4.0% | 80.0% | a:94.8% b:88.2% c:60.2% |
| | | (3) 多肢選択 | 生物 (消化器官の順) | 68.5% | 0.0% | 68.5% | a:80.9% b:70.2% c:56.9% |
| | 2 | (1) 語句記述 | 地学 (重要語句) | 78.8% | 5.0% | 79.1% | a:98.0% b:90.8% c:52.6% |
| | | (2) 多肢選択 | 地学 (気団とその性質) | 46.3% | 0.0% | 46.3% | a:80.0% b:41.1% c:24.3% |
| | | (3) 多肢選択 | 地学 (天気図) | 54.0% | 0.0% | 54.0% | a:77.4% b:58.2% c:31.3% |
| | 3 | (1) 多肢選択 | 化学 (原子の性質) | 64.5% | 0.5% | 64.5% | a:97.4% b:74.5% c:28.5% |
| | | | 物理 (除極線の性質) | 53.8% | 0.0% | 61.3% | a:88.7% b:60.5% c:40.1% |
| | | (2) ② 多肢選択 | 物理 (電界内の除極線) | 69.0% | 0.0% | 69.0% | a:96.5% b:75.2% c:41.0% |
| | | | ③ 語句記述 | 物理 (重要語句) | 62.5% | 3.5% | 62.7% |
| (3) 多肢選択 | | 化学 (原子の構造) | 79.3% | 0.5% | 79.3% | a:100.0% b:89.4% c:52.8% | |
| (4) 論述 | | 化学 (電気的中性) | 10.8% | 13.0% | 21.5% | a:29.0% b:30.5% c:6.7% | |
| 第二問 | 1 | 語句記述 | 生物 (重要語句) | 77.0% | 3.0% | 77.3% | a:98.3% b:86.5% c:51.6% |
| | 2 | 多肢選択 | 生物 (塩酸処理) | 84.3% | 0.0% | 84.3% | a:99.1% b:87.9% c:68.8% |
| | 3 | 多肢選択 | 生物 (染色液) | 87.3% | 0.0% | 87.3% | a:100.0% b:95.7% c:68.8% |
| | 4 | 語句記述 | 生物 (染色体の本数) | 48.3% | 1.0% | 48.3% | a:81.7% b:47.5% c:22.2% |
| | 5 | 論述 | 生物 (細胞分裂) | 9.8% | 6.0% | 32.6% | a:37.4% b:42.0% c:19.6% |
| 第三問 | 1 | 語句記述 | 地学 (重要語句) | 73.3% | 4.0% | 73.7% | a:98.6% b:79.2% c:48.4% |
| | 2 | 多肢選択 | 地学 (凝灰岩) | 75.8% | 0.0% | 75.8% | a:93.0% b:78.0% c:59.7% |
| | 3 | 多肢選択 | 地学 (地層ができたときの環境) | 69.8% | 0.0% | 69.8% | a:90.4% b:73.1% c:50.0% |
| | 4 | (1) 多肢選択 | 地学 (地層の傾き) | 46.8% | 0.0% | 62.8% | a:76.8% b:56.7% c:57.4% |
| (2) 多肢選択 | | 地学 (凝灰岩の標高) | 14.0% | 0.5% | 14.0% | a:20.0% b:11.4% c:11.8% | |
| 第四問 | 1 | 多肢選択 | 化学 (化合物) | 24.0% | 0.0% | 24.0% | a:42.6% b:19.2% c:13.9% |
| | 2 | 語句記述 | 化学 (重要語句) | 89.0% | 3.0% | 89.5% | a:100.0% b:93.9% c:76.9% |
| | 3 | (1) 計算 | 化学 (水溶液の濃度) | 24.0% | 12.5% | 24.0% | a:54.8% b:20.6% c:2.8% |
| | | (2) 作図 | 化学 (発生する気体) | 50.0% | 13.0% | 52.3% | a:88.7% b:57.7% c:18.1% |
| (3) 計算 | | 化学 (成分の濃度) | 17.5% | 22.5% | 17.5% | a:40.9% b:12.1% c:4.2% | |
| 第五問 | 1 | 多肢選択 | 物理 (力) | 70.3% | 0.0% | 70.3% | a:87.8% b:72.3% c:54.2% |
| | 2 | 多肢選択 | 物理 (斜面での加速) | 93.5% | 0.0% | 95.5% | a:100.0% b:96.9% c:90.5% |
| | 3 | 計算 | 物理 (速さ) | 34.5% | 10.8% | 34.5% | a:74.8% b:34.0% c:2.8% |
| | 4 | 多肢選択 | 物理 (エネルギーと時間) | 57.3% | 0.8% | 57.3% | a:87.8% b:56.0% c:34.0% |
| | 5 | 論述 | 物理 (エネルギー保存) | 20.5% | 13.3% | 28.4% | a:56.1% b:28.9% c:5.9% |
| 計 | | | | | 57.9% | a:78.1% b:60.8% c:39.0% | |

令和5年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
理科

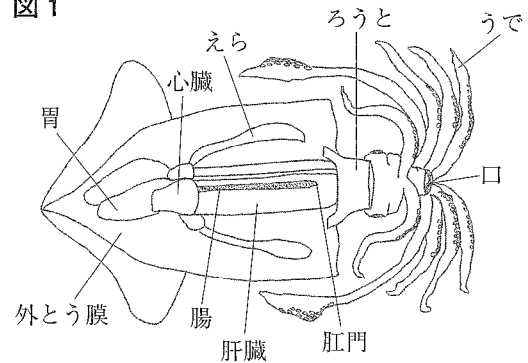
第一問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 スルメイカのからだのつくりについて調べた次の観察について、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

〔観察〕

- ① スルメイカの外とう膜を切り開き、からだのつくりと内臓を観察した。図1は、観察したスルメイカのスケッチである。
- ② スポイトを用いて、口から色水（赤インクをうすめたもの）を入れたところ、色水が消化にかかわる器官を通り、肛門から排出されるようすが確認できた。

図1



(1) 観察で、スルメイカにえらが見られたことから、スルメイカはえらで呼吸していることがわかります。スルメイカと同じように、えらで呼吸する動物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ペンギン イ カメ ウ メダカ エ クジラ

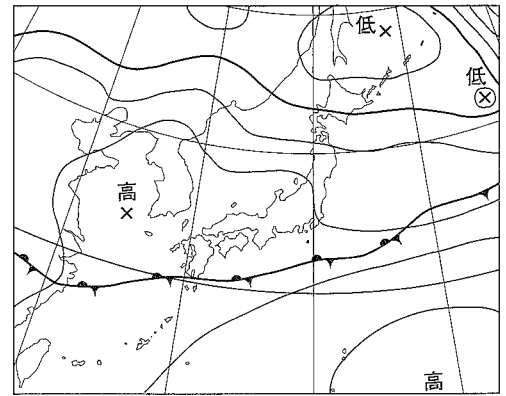
(2) スルメイカのように、背骨がなく、内臓が外とう膜に包まれ、からだに節がないという特徴をもつ無セキツイ動物を何というか、答えなさい。

(3) 下線部で、口から入れた色水が肛門から排出されるまでに通った器官を、色水を通った順に並べたものとして、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 口 → 胃 → 肝臓 → 腸 → 肛門 イ 口 → 胃 → 腸 → 肛門
ウ 口 → 腸 → 心臓 → 胃 → 肛門 エ 口 → 腸 → 胃 → 肛門

2 図2は、ある年の6月22日9時の日本列島付近の天気図です。次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

図2



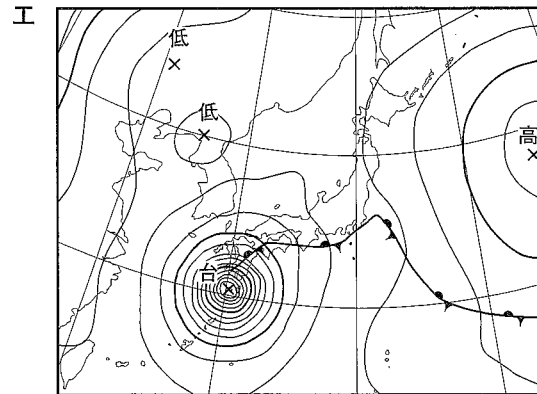
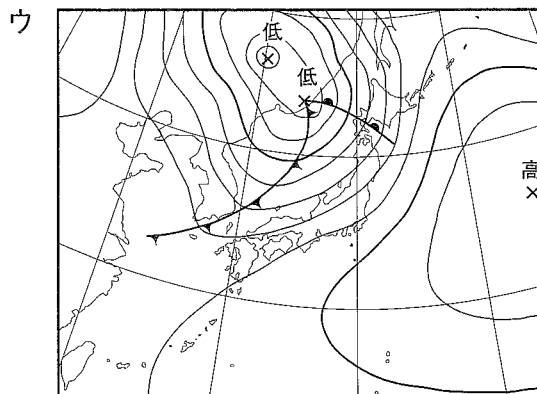
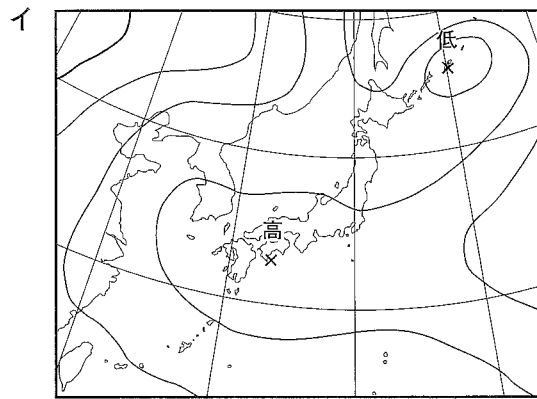
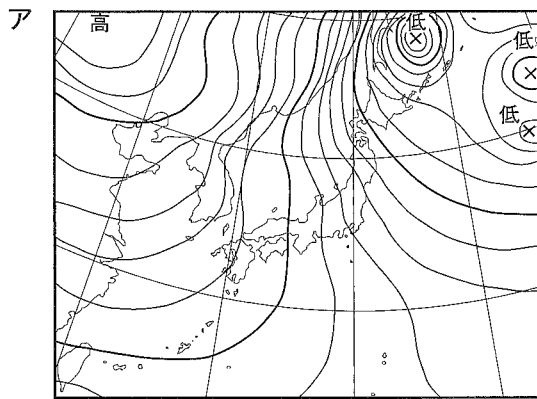
(「気象庁ホームページ」より作成)

(1) 図2で、気圧が等しい地点を結んだ線を何というか、答えなさい。

(2) 図2の日本列島付近にある停滞前線は、オホーツク海気団と小笠原気団の勢力が同じくらいであるために生じたもので、梅雨前線とよばれます。オホーツク海気団と小笠原気団の性質の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|----------|-------|---|-------|-------|
| ア | オホーツク海気団 | 湿潤・寒冷 | - | 小笠原気団 | 乾燥・温暖 |
| イ | オホーツク海気団 | 乾燥・寒冷 | - | 小笠原気団 | 湿潤・温暖 |
| ウ | オホーツク海気団 | 乾燥・寒冷 | - | 小笠原気団 | 乾燥・温暖 |
| エ | オホーツク海気団 | 湿潤・寒冷 | - | 小笠原気団 | 湿潤・温暖 |

(3) オホーツク海気団の勢力がおとろえ、小笠原気団の勢力が強くなると、梅雨前線が移動して日本列島が小笠原気団におおわれ、晴れる日が多くなってつゆが明けます。このように、日本列島が小笠原気団におおわれたときの特徴的な天気図として、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。



3 原子の構造の解明に関係するできごとをまとめた次の資料について、あとの(1)~(4)の問いに答えなさい。

〔資料〕

① 陰極線の発見

真空放電管を使った実験で、真空放電管に大きな電圧を加えると、陰極線が観測された。

② 電子の発見

真空放電管を使った実験で、陰極線が^{マイナス}の電気をもつ電子の流れだとわかった。

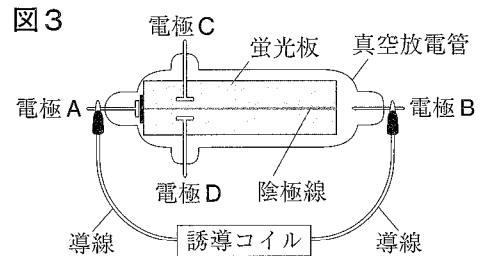
③ 原子の構造解明

^{プラス}の電気をもつ陽子と、電気をもたない中性子が発見され、原子の構造が解明された。

(1) 原子の性質について述べたものとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 種類によって大きさが決まっている。 イ 化学変化によって2つに分けることができる。
ウ 1個の質量は種類に関係なく同じである。 エ 化学変化によって他の種類の原子に変わる。

(2) ①について、図3のように、蛍光板の入った真空放電管の電極A、Bに誘導コイルをつなぎ、誘導コイルの電源を入れて大きな電圧を加えると、電極Aから電極Bに向かって出ている陰極線が観測できます。次の①~③の問いに答えなさい。



① 陰極線の観測からわかることについて述べた次の文章の内容が正しくなるように、aのア、イ、bのウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

陰極線の進む向きから、誘導コイルの+極につないだのはa (ア 電極A イ 電極B) であり、誘導コイルと真空放電管をつなぐ導線の中を電子が移動する向きは、誘導コイルから流れる電流の向きとb (ウ 同じ エ 逆) である。

② 別の電源を準備し、電極Cに-極、電極Dに+極をつないで電圧を加えると、②のように、陰極線が-の電気をもつことが確認できる現象が起こります。この現象について述べたものとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 陰極線が見えなくなる。 イ 陰極線が電極Cのほうにひかれて曲がる。
ウ 陰極線が蛍光板全体に広がる。 エ 陰極線が電極Dのほうにひかれて曲がる。

③ ドイツのレントゲンは、真空放電管を使った実験中に、真空放電管を通りぬける性質をもった放射線を発見しました。このとき発見された、からだの内部を調べる検査などで利用される放射線を何というか、答えなさい。

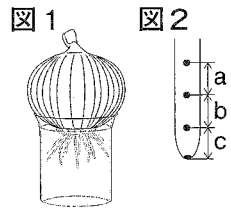
(3) ③について、解明された原子の構造について述べたものとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 原子核は陽子と中性子からできていて、原子核のまわりに電子が存在する。
イ 原子核は陽子と電子からできていて、原子核のまわりに中性子が存在する。
ウ 原子核は中性子からできていて、原子核のまわりに陽子と電子が存在する。
エ 原子核は陽子からできていて、原子核のまわりに電子と中性子が存在する。

(4) 原子を構成する陽子、電子、中性子のうち、陽子と電子が電気をもっているにもかかわらず、原子が全体として電気を帯びていない理由を、簡潔に述べなさい。

第二問 タマネギの根の成長を調べた次の観察Ⅰ、Ⅱについて、あとの1～5の問いに答えなさい。

〔観察Ⅰ〕 図1のように、タマネギを水につけておくと、根が出てきた。
 1本の根に、図2のように、根の先端とそこから5mm間隔で印をつけ、
 印の間を根もとに近いほうからそれぞれ a, b, c とした。再びタマネギを水につけておくと、印をつけてから24時間後、a～cの長さは表のようになった。

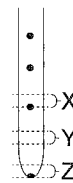


| 表 | | a | b | c |
|-----------------|------|---|---|----|
| 印をつけた直後の長さ | [mm] | 5 | 5 | 5 |
| 印をつけてから24時間後の長さ | [mm] | 5 | 6 | 11 |

〔観察Ⅱ〕

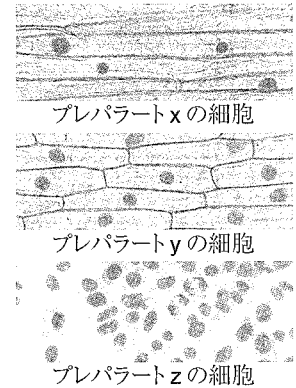
① 観察Ⅰで用いた、印をつけてから24時間後の根を根もとから切りとり、図3の3つの部分 X, Y, Z をそれぞれ2mmずつ切りとって塩酸処理をした。

図3



② ①の処理をした X, Y, Z をそれぞれ、スライドガラスにのせ、柄つき針の腹で軽くほぐした後、染色液で染色し、カバーガラスをかけ、ろ紙をかぶせた上から押しつぶして、プレパラート x, y, z をつくった。

図4



③ プレパラート x～z の細胞の大きさと、細胞が細胞分裂しているかを、顕微鏡で観察した。図4は、プレパラート x～z に見られた細胞を、すべて同じ倍率で撮影した写真である。プレパラート x, y には細胞分裂をしている細胞はなかったが、プレパラート z には細胞分裂をしている細胞が多くあった。

1 観察Ⅰで、タマネギは、根から水を吸収しています。植物の根や茎にある維管束のうち、根から吸収された水が通る管を何というか、答えなさい。

2 観察Ⅱの①で、塩酸処理を行う目的について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 細胞を脱色するため。

イ 細胞を壊して核を取り出すため。

ウ 細胞を1つ1つ離れやすくするため。

エ 細胞分裂の進行をはやめるため。

3 観察Ⅱの②で用いた染色液として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ベネジクト液

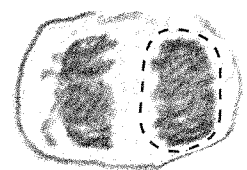
イ ヨウ素液

ウ BTB溶液

エ 酢酸オルセイン

4 下線部について、図5は、図4のプレパラート z に見られた、細胞分裂をしている1個の細胞を拡大したもので、染色体が細胞の両端にわかれたようすが見られます。細胞分裂をしていないタマネギの細胞1個にふくまれる染色体が16本であるとき、図5の点線(----)で囲まれた部分にふくまれる染色体の数は何本か、答えなさい。

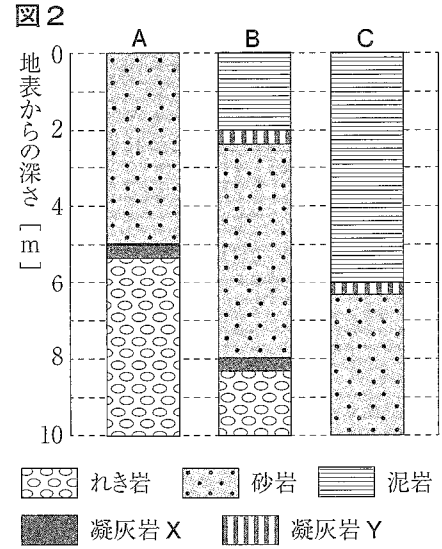
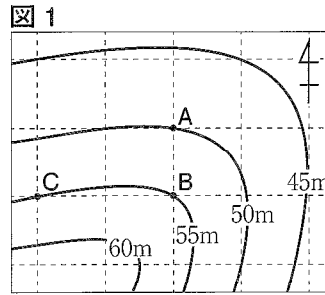
図5



5 観察Ⅰで、bの長さの変化に比べ、cの長さの変化が大きい理由を、観察Ⅱの結果をもとに、簡潔に述べなさい。

第三問 ある地域の地層について、地図やボーリング試料をもとに、調査結果にまとめました。あとの1～4の問いに答えなさい。

〔調査結果〕 図1は、1目盛りを100mとした方眼紙に、A～Cの3地点を表した地図で、実線(—)は等高線を、数値は標高を示している。図2は、A～Cの各地点における地層の重なりを表したものである。



- ・ Aの砂岩の地層は、ビカリアの化石が見つかったことから、新生代にできた地層であることがわかった。
- ・ Aの凝灰岩XとBの凝灰岩X、Bの凝灰岩YとCの凝灰岩Yは、それぞれ同時期に堆積したものとわかった。
- ・ この地域に断層やしゅう曲はなく、地層は一定の角度で傾いていることがわかった。

1 下線部について、ビカリアの化石のように、地層の堆積した年代を知ることができる化石を何と
いうか、答えなさい。

2 凝灰岩について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えな
さい。

- ア 角がとれてまるみを帯びた粒でできている。 イ 火山噴出物が堆積してできる。
- ウ マグマが地下の深いところで冷えてできる。 エ 生物の死がい堆積してできる。

3 Cで、泥岩の地層と砂岩の地層が、それぞれ堆積したときの環境を比べると、泥岩の地層が堆積
したときの環境のほうが、海岸から離れていたと考えられます。その理由を述べたものとして、最
も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

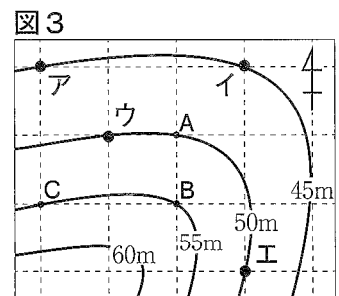
- ア 泥岩は砂岩より構成する粒が小さく、風によって運搬されやすいから。
- イ 泥岩は砂岩より構成する粒が大きく、風によって運搬されやすいから。
- ウ 泥岩は砂岩より構成する粒が小さく、水によって運搬されやすいから。
- エ 泥岩は砂岩より構成する粒が大きく、水によって運搬されやすいから。

4 調査結果をもとに、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 調査結果からわかることについて述べた次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②
のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

図2の5種類の地層のうち、堆積した年代が最も古いのは、①(ア れき岩 イ 泥岩)である。A～Cの同じ種類の地層をつなげて考えることで、図2の5種類の地層は、②(ウ 南西 エ 北西)が低くなるように傾いていることがわかる。

(2) 図3は、図1にア～エの4地点を加えたものです。凝灰岩Yが標高と同じ高さの地表で観察できると考えられる場所を、図3の
ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



第 四 問 科学部に所属する美咲さんは、自宅にあったカルシウムのサプリメント（栄養補助食品）に貝がらが使用されていることに興味をもち、サプリメントにふくまれる物質の量の調べ方について、同じ部に所属する豊さんと話しています。次の は、美咲さんと豊さんの会話です。これを読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

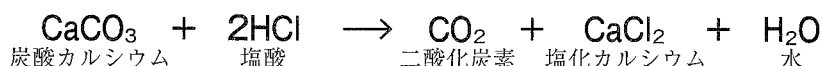


サプリメントに貝がらが使われているなんて驚いたよ。貝がらは主に炭酸カルシウムという物質からできているんだよ。

そうなんだ。貝がらや石灰石に塩酸をかけると二酸化炭素が発生するのは、炭酸カルシウムが関係しているのかな。インターネットで調べてみよう。
炭酸カルシウムと塩酸の化学反応式を見つけたよ。



インターネットで見つけた化学反応式



①炭酸カルシウムは、カルシウムと炭素と酸素からできているんだね。この化学変化を使って、サプリメントにふくまれる物質の量を調べられないかな。

この化学反応式を見ると、反応後の物質のうち、気体は二酸化炭素だけだよ。②化学変化が起こる前と後の質量を調べれば、発生した二酸化炭素の質量がわかるかな。



なるほど、発生した二酸化炭素が容器の外に出ていくと、全体の質量は小さくなるね。炭酸カルシウムの質量と容器の外に出ていった二酸化炭素の質量との関係がわかれば、サプリメントにふくまれる炭酸カルシウムの量も求められそうだよ。

サプリメントにふくまれる炭酸カルシウムの量がわかったら、サプリメントにふくまれるカルシウムの割合も調べられるかな。



1 下線部①について、炭酸カルシウムと同じように3種類の元素からできている化合物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 酸化銀 Ag_2O

イ 水酸化バリウム $\text{Ba}(\text{OH})_2$

ウ 塩化銅 CuCl_2

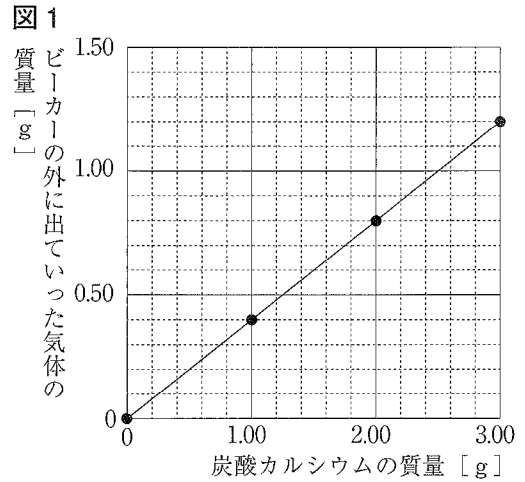
エ 炭酸水素ナトリウム NaHCO_3

2 下線部②について、化学変化が起こる前と後では、物質全体の質量は変わりません。この法則を何というか、答えなさい。

3 美咲さんたちは、考えた調べ方をもとに、実験Ⅰ、Ⅱを行いました。あとの(1)~(3)の問いに答えなさい。

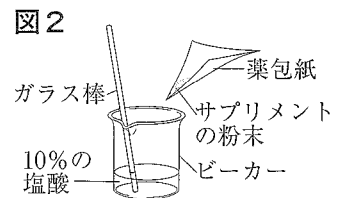
〔実験Ⅰ〕

- ① ビーカーA, B, Cに10%の塩酸を、25.00 gずつはかりとり、それぞれにガラス棒を入れて、ビーカーA~Cそれぞれの全体の質量をはかった。
- ② 炭酸カルシウムを、ビーカーAには1.00 g、ビーカーBには2.00 g、ビーカーCには3.00 g加えてガラス棒でよくかき混ぜると、すべてのビーカーで気体が発生した。
- ③ 十分に時間がたってから、ビーカーA~Cそれぞれの全体の質量をはかった。
- ④ ①ではかった質量に、炭酸カルシウムの質量を足してから、③ではかった質量を引いて、ビーカーの外に出ていった気体の質量を求めた。
- ⑤ 炭酸カルシウムの質量とビーカーの外に出ていった気体の質量との関係をグラフにまとめたところ、図1のようになった。



〔実験Ⅱ〕

- ① サプリメントの粉末を、薬包紙に1.00 gずつとり分けたものを3つ準備した。
- ② ガラス棒を入れたビーカーの質量をはかってから、10%の塩酸25.00 gを入れて、ビーカー全体の質量をはかった。
- ③ 図2のように、①でとり分けたサプリメントの粉末を、1.00 gずつビーカーに加えていき、サプリメントの粉末を1.00 g加えるたびに、ガラス棒でよくかき混ぜ、気体が発生して十分に時間がたってから、ビーカー全体の質量をはかった。
- ④ ③ではかったビーカー全体の質量から、②ではかった、ガラス棒を入れたビーカーの質量を引いて、「ビーカー内の物質の質量」を求めた。「ビーカーに加えたサプリメントの粉末の総質量」と、「ビーカー内の物質の質量」を表にまとめた。



| 表 | ビーカーに加えたサプリメントの粉末の総質量 [g] | 1.00 | 2.00 | 3.00 |
|---|---------------------------|-------|-------|-------|
| | ビーカー内の物質の質量 [g] | 25.70 | 26.40 | 27.10 |

- (1) 塩酸は塩化水素の水溶液です。36%の塩酸50 gを水でうすめて、10%の塩酸をつくる時、必要な水は何 gか、求めなさい。
- (2) 実験Ⅱで、「ビーカーに加えたサプリメントの粉末の総質量」と「ビーカーの外に出ていった気体の質量」との関係を表すグラフを、解答用紙の図にかき入れなさい。
- (3) 実験Ⅰ、Ⅱの結果をもとに、実験Ⅱで使用したサプリメントの質量に対するカルシウムの質量の割合は何%か、求めなさい。ただし、炭酸カルシウム1.00 gにふくまれるカルシウムの質量は0.40 gとします。また、サプリメントにふくまれる物質のうち、炭酸カルシウムのすべてが塩酸と反応し、炭酸カルシウム以外の物質は塩酸と反応しないものとします。

第五問 レール上の小球の運動を調べた次の実験について、あとの1～5の問いに答えなさい。ただし、小球にはたらく摩擦や空気抵抗は無視できるものとします。また、小球の最下点をふくむ水平面を高さの基準面とします。

〔実験〕 まっすぐな長さ80cmのレールA、Bを準備し、それぞれ左端から1cmごとに目盛りをつけた。図1のように、レールA、Bの左端が30cmの高さになるように固定し、レールBはレールの中心でなめらかに曲げ、レールA、Bの右端、レールBの中心を床に固定した。同じ質量の小球a、bを用意し、小球aをレールA、小球bをレールBの左端に置き、同時に静かに手を離すと、2つの小球はレールを離れることなく、レールに沿って進み、小球bが小球aより先にレールの右端に到着した。また、小球から手を離したときから、0.10秒間隔で連続写真を撮影し、0.10秒ごとの小球a、bの、基準面からの高さレールの左端からの距離を調べ、それぞれ表1、表2にまとめた。レールの左端からの距離は、レールにつけた目盛りを使って調べたものである。

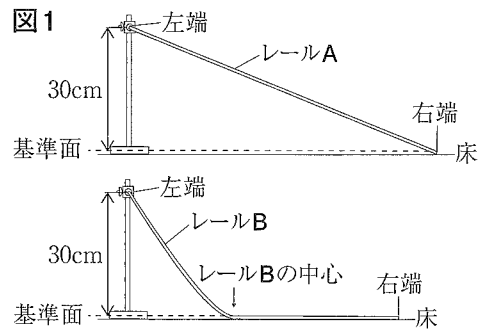


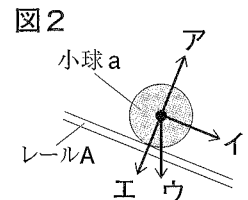
表1

| | | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|------|------|------|------|------|
| 小球a | 手を離してから時間 [秒] | 0 | 0.10 | 0.20 | 0.30 | 0.40 | 0.50 | 0.60 |
| | 基準面からの高さ [cm] | 30 | 29 | 27 | 24 | 19 | 13 | 5 |
| | レールの左端からの距離 [cm] | 0 | 1.8 | 7.3 | 16.5 | 29.4 | 45.9 | 66.1 |

表2

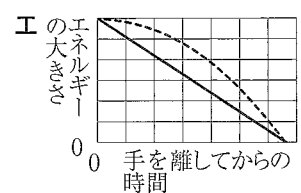
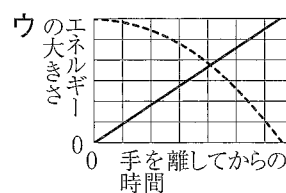
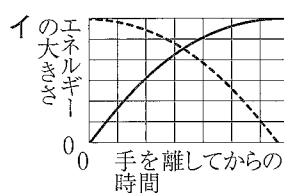
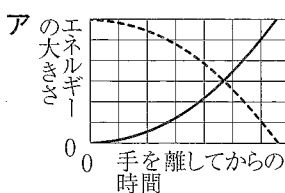
| | | | | | | | |
|-----|------------------|----|------|------|------|------|------|
| 小球b | 手を離してから時間 [秒] | 0 | 0.10 | 0.20 | 0.30 | 0.40 | 0.50 |
| | 基準面からの高さ [cm] | 30 | 27 | 19 | 5 | 0 | 0 |
| | レールの左端からの距離 [cm] | 0 | 3.5 | 14.0 | 31.8 | 54.4 | 78.4 |

- 小球aがレールAを左端から右端まで進むとき、小球aにはたらく重力を示す力の矢印として、最も適切なものを、図2のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- 実験の結果からわかることについて述べた次の文章の内容が正しくなるように、①のア、イ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。



小球aは、速さが一定の割合で①（ア 減少 イ 増加）しながら進んだ。レールの傾きを大きくすると、物体の速さが変化する割合は②（ウ 大きく エ 小さく）なる。

- 小球bがレールBの中心からレールBの右端に到着するまでの、小球bの速さは何cm/sか、求めなさい。
- 小球aがレールAを左端から右端まで進む間の、小球aがもつ位置エネルギーの変化のようすを点線（-----）で、運動エネルギーの変化のようすを実線（——）で表したものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、小球aがレールAの右端に到着したときの位置エネルギーを0とします。



- 実験で、小球bが小球aより先にレールの右端に到着した理由を、力学的エネルギーの保存の考え方をもとに、簡潔に述べなさい。

| 備考欄 | 配点 | 第一問 | |
|----------------|----|-------|---|
| | 36 | | |
| | 3 | (1) | ウ |
| | 3 | 1 (2) | 軟体動物 |
| | 3 | (3) | イ |
| | 3 | (1) | 等圧線 |
| | 3 | 2 (2) | エ |
| | 3 | (3) | イ |
| | 3 | (1) | ア |
| | 3 | ① | a (イ) b (エ) |
| | 3 | (2) ② | エ |
| 「エックス線」も正答とする。 | 3 | 3 ③ | X線 |
| | 3 | (3) | ア |
| | 3 | (4) | (例) 陽子1個, 電子1個がもつ電気の量が等しく, 陽子と電子の数が等しいため。 |

| 備考欄 | 配点 | 第二問 | |
|-----|----|-----|---|
| | 16 | | |
| | 3 | 1 | 道管 |
| | 3 | 2 | ウ |
| | 3 | 3 | エ |
| | 3 | 4 | 16 [本] |
| | 4 | 5 | (例) bでは細胞分裂が行われず細胞が大きくなるのに比べ, cでは細胞分裂が行われ, 増えた細胞それぞれが大きくなるから。 |

| 備考欄 | 配点 | 第三問 | |
|-----|----|-----|---------------|
| | 16 | | |
| | 3 | 1 | 示準化石 |
| | 3 | 2 | イ |
| | 3 | 3 | ウ |
| | 3 | (1) | ①(ア) ②(エ) |
| | 4 | (2) | ア |

| 備考欄 | 配点 | 第四問 | |
|-----|----|-------|---------|
| | 16 | | |
| | 3 | 1 | イ |
| | 3 | 2 | 質量保存の法則 |
| | 3 | (1) | 130 [g] |
| | 3 | 3 (2) | |
| | 4 | (3) | 30 [%] |

| 備考欄 | 配点 | 第五問 | |
|-----|----|-----|--|
| | 16 | | |
| | 3 | 1 | ウ |
| | 3 | 2 | ①(イ) ②(ウ) |
| | 3 | 3 | 240 [cm/s] |
| | 3 | 4 | ア |
| | 4 | 5 | (例) レールの左端では小球a, bは同じ位置エネルギーをもっていたが, 小球bは小球aより低い位置を進んだため, 位置エネルギーから移り変わった運動エネルギーが常に小球aより大きく, 速さが大きかったから。 |

(注) 上記以外については, 各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識、それらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと及び書くことによるコミュニケーションにおいて活用する技能並びに情報を整理しながら考えを形成し、英語で表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら英語を聞いて内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力、会話を聞いて内容を理解し質問に適切に応答する力及び短い会話を聞いて場面を捉え質問に対して即興で適切に応答する力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識と語彙力及び基本的

な英文を構成する力をみようとした。

第三問では、高校生が部活動の経験から学んだことについて書いた英文を素材とし、英文の内容を正確に読み取り、要旨を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、3人の高校生が、衣料廃棄物の問題について意見を述べた英文を素材とし、必要な情報や概要、要点を的確に捉えながら、英文の内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、中学生と留学生が、プレゼントとして購入する本の種類を相談している会話を素材とし、自分の考えやその理由を相手に伝わるように英語で適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問>聞き取った英語の内容理解をみる問題

英語での会話を聞いて会話の流れに沿って適切に応答することに課題

問題1 英語を聞いて必要な情報を正確に捉えることができるかをみる問題。1、2番とも、全ての層において、昨年度の同様の設問よりも正答率が上昇した。聞き取りのポイントとなる基本的な英語表現の知識が身に付いていると考えられる。

問題3 3番 まとまった量の会話を聞いて全体の内容を正確に捉えることができるかをみる問題。1、2番よりも正答率が約14ポイント低かった。場面や状況を伝えた上で会話をメモを取りながら聞かせ、聞き取った内容を説明させるなど、会話全体の内容を正しく把握する力を育む活動を一層充実させたい。

問題4 質問に即興で適切に応答することが

できるかをみる問題。c層の無答率は36.8%であり、a・b層との差が大きい。理由を問う質問に対して、話題が大きくはずれると判断される応答が散見された。自分の考えとその理由について、相手と口頭で伝え合い、自分が話した内容を書いてまとめるなどの活動の工夫が求められる。

<第二問>基本的な文法・語法に関する知識と語彙、基本的な英文を構成することをみる問題

文構造や文法事項を正しく用いて基本的な英文を構成することに課題

1(2) 依頼を表すCan you...?への応答に関する基本的な問題。誤答の74.8%が、時制を考慮せずにエのHaveを選んでいった。学習した表現は、意味のある文脈で繰り返し話させたり書かせたりすることで習熟を図りたい。

3 (1) whoを用いて疑問文を構成することができるかをみる問題。a・b層では、誤答の半数がwhoを関係代名詞と判断し、“that girl who is by”と解答していた。使用頻度の高い英語表現については、実際的な使用場面を想定した言語活動を通して、確実な定着を図ることが求められる。

＜第三問＞英文の内容を的確に読み取ること及び英文の要旨を正確につかむことをみる問題

英文の内容を的確に理解することに課題

3 登場人物の心情の変化を的確に捉えることができるかをみる問題。英文に含まれる複数の情報を整理し、展開を的確に把握する必要があった。c層では、誤答の86.6%が必要な情報の所在を誤って捉えていた。出来事を時系列に沿って整理するなど、英文のあらすじや大切な部分を的確に捉える活動を意識的に設定していきたい。

5 書き手が伝えたいことを正確に把握することができるかをみる問題。正答率は16.8%にとどまった。誤答の多くは、英文中の出来事を一般化して捉えられていないと推察されるものであった。読んだ内容について自分の意見を述べるなど、技能統合型の活動を取り入れることで、書き手が述べていることを正確に理解する力を伸ばさせていきたい。

＜第四問＞必要な情報や概要、要点を的確に捉え、英文の内容を正確に読み取ることを見る問題

英文の要点を的確に捉えることに課題

2 英文中の表現が指し示す内容を的確に捉えることができるかをみる問題。a層とb層で得点率に50.7ポイントの差が付いた。誤答の75.0%が、必要な情報を捉えておらず、文章

の構成を押さえながら内容を適切に把握することに課題が見られた。b・c層では、語彙に関する既有知識と、素材文に関する既有知識とを不適切に組み合わせたと推察される誤答が散見された。文章の構成や論理の展開を意識しながら、概要や要点を的確に読み取る方法を丁寧に指導していきたい。

3 (2) 英文の要点を的確に捉えることができるかをみる問題。無答率は27.5%で、全問題を通して最も高く、c層の無答率は54.2%に上った。b層の誤答では、65.9%が必要な情報の所在を誤って捉えていた。a層の誤答では、情報の所在は把握しているが、代名詞や動詞の語形の処理が不正確なものが53.1%を占めた。複数の情報を整理し、大切な部分を正確に捉える力を育む指導の充実が望まれる。

＜第五問＞自分の考えやその理由が相手に伝わるように英語で適切に表現することをみる問題

自分の考えとその理由を正しく伝えるように書くことに課題

- 1 疑問詞を含む疑問文に関する基本的な問題であるが、a層とb層の得点率の差が38.7ポイントと大きかった。b・c層では、文構造の不成立による誤りが目立った。基本的な語順の知識の定着を図る指導を一層充実させたい。
- 2 無答率は20.5%で、昨年度より3.3ポイント低下した。無答以外の大部分は、2人の会話の流れと相手の問いを理解し、選んだ本の種類とその選択の理由を述べようとするものであった。c層の無答率は44.4%で、会話文の内容を把握できず、応答を考えることができなかつたと推察される。聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えやその理由を書く技能統合型の活動を行うなど、まとまりのある内容を書いて伝える機会を増やしたい。

| 問題 | | | | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率 | 調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~46点) | | |
|-----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------|-------|-------|--|--------|--|
| 第一問 | 問題1 | 1番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 97.5% | 0.0% | 97.5% | a | 100.0% | |
| | | b | 97.9% | | | | | | |
| | c | 95.1% | | | | | | | |
| | 2番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 75.8% | 0.0% | 75.8% | a | 98.3% | | |
| | b | 81.6% | | | | | | | |
| | c | 52.1% | | | | | | | |
| | 問題2 | 1番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 75.0% | 0.0% | 75.0% | a | 100.0% | |
| | | b | 85.1% | | | | | | |
| | c | 45.1% | | | | | | | |
| | 2番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 83.8% | 0.0% | 83.8% | a | 99.1% | | |
| b | 95.0% | | | | | | | | |
| c | 60.4% | | | | | | | | |
| 問題3 | 1番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 77.5% | 0.0% | 77.5% | a | 99.1% | | |
| | b | 80.1% | | | | | | | |
| | c | 57.6% | | | | | | | |
| 2番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 78.0% | 0.0% | 78.0% | a | 97.4% | | | |
| b | 78.0% | | | | | | | | |
| c | 62.5% | | | | | | | | |
| 3番 | 多肢選択 リスニング 内容把握 | 64.0% | 0.0% | 64.0% | a | 87.8% | | | |
| b | 58.2% | | | | | | | | |
| c | 50.7% | | | | | | | | |
| 問題4 | 英文記述 リスニング 応答文 | 25.5% | 15.8% | 46.5% | a | 79.6% | | | |
| b | 47.3% | | | | | | | | |
| c | 19.3% | | | | | | | | |
| 第二問 | 1 | (1) | 多肢選択 語彙 | 71.3% | 0.0% | 71.3% | a | 96.5% | |
| | | b | 74.5% | | | | | | |
| | | c | 47.9% | | | | | | |
| | (2) | 多肢選択 文法 | 73.3% | 0.0% | 73.3% | a | 97.4% | | |
| | b | 80.1% | | | | | | | |
| | c | 47.2% | | | | | | | |
| | (3) | 多肢選択 文法 | 80.3% | 0.0% | 80.3% | a | 98.3% | | |
| | b | 90.8% | | | | | | | |
| c | 55.6% | | | | | | | | |
| 2 | (1) | 語記述 語彙 | 49.0% | 7.0% | 49.3% | a | 84.4% | | |
| | b | 49.7% | | | | | | | |
| c | 21.1% | | | | | | | | |
| (2) | 語記述 語彙 | 57.8% | 4.3% | 58.6% | a | 97.1% | | | |
| b | 61.7% | | | | | | | | |
| c | 24.8% | | | | | | | | |
| 3 | (1) | 語順整序 文法 | 77.3% | 0.3% | 77.3% | a | 91.3% | | |
| | b | 79.4% | | | | | | | |
| c | 63.9% | | | | | | | | |
| (2) | 語順整序 文法 | 58.0% | 0.3% | 58.0% | a | 97.4% | | | |
| b | 64.5% | | | | | | | | |
| c | 20.1% | | | | | | | | |
| 第三問 | 1 | 英文記述 内容理解 | 28.8% | 17.5% | 40.2% | a | 80.2% | | |
| | b | 38.1% | | | | | | | |
| | c | 10.2% | | | | | | | |
| | 2 | 多肢選択 内容理解 | 44.5% | 0.0% | 44.5% | a | 86.1% | | |
| | b | 36.2% | | | | | | | |
| c | 19.4% | | | | | | | | |
| 3 | 和文論述 内容理解 | 35.0% | 17.5% | 46.9% | a | 86.7% | | | |
| b | 47.9% | | | | | | | | |
| c | 14.2% | | | | | | | | |
| 4 | 英文整序 本文の 要旨 | 38.8% | 1.5% | 38.8% | a | 87.8% | | | |
| b | 29.8% | | | | | | | | |
| c | 8.3% | | | | | | | | |
| 5 | 語記述 本文の 要旨 | 16.8% | 24.0% | 16.8% | a | 49.6% | | | |
| b | 5.7% | | | | | | | | |
| c | 1.4% | | | | | | | | |
| 第四問 | 1 | 多肢選択 内容理解 | 73.5% | 0.0% | 73.5% | a | 96.5% | | |
| | | b | 80.9% | | | | | | |
| | c | 47.9% | | | | | | | |
| | 2 | 和文論述 内容理解 | 30.0% | 23.0% | 36.9% | a | 83.3% | | |
| | | b | 32.6% | | | | | | |
| | c | 4.0% | | | | | | | |
| | 3 | (1) | 英文記述 内容理解 | 32.3% | 17.3% | 47.6% | a | 81.3% | |
| | | b | 49.1% | | | | | | |
| | c | 19.3% | | | | | | | |
| | (2) | 英文記述 内容理解 | 20.8% | 27.5% | 33.6% | a | 72.0% | | |
| b | 26.8% | | | | | | | | |
| c | 9.6% | | | | | | | | |
| 4 | (1) | 多肢選択 本文の 要旨 | 59.8% | 0.3% | 59.8% | a | 93.9% | | |
| | b | 58.2% | | | | | | | |
| | c | 34.0% | | | | | | | |
| | (2) | 多肢選択 本文の 要旨 | 56.8% | 0.3% | 56.8% | a | 80.9% | | |
| b | 58.2% | | | | | | | | |
| c | 36.1% | | | | | | | | |
| (3) | 多肢選択 本文の 要旨 | 68.5% | 0.3% | 68.5% | a | 94.8% | | | |
| b | 67.4% | | | | | | | | |
| c | 48.6% | | | | | | | | |
| (4) | 多肢選択 本文の 要旨 | 58.3% | 0.3% | 58.3% | a | 86.4% | | | |
| b | 56.0% | | | | | | | | |
| c | 38.2% | | | | | | | | |
| 第五問 | 1 | 英文記述 英作文 | 37.8% | 11.5% | 46.8% | a | 84.1% | | |
| | b | 45.4% | | | | | | | |
| c | 18.3% | | | | | | | | |
| 2 | 英文記述 英作文 | 11.5% | 20.5% | 46.0% | a | 77.2% | | | |
| b | 50.2% | | | | | | | | |
| c | 17.1% | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 57.0% | a | 87.5% | |
| | | | | | | | b | 57.6% | |
| | | | | | | | c | 32.1% | |

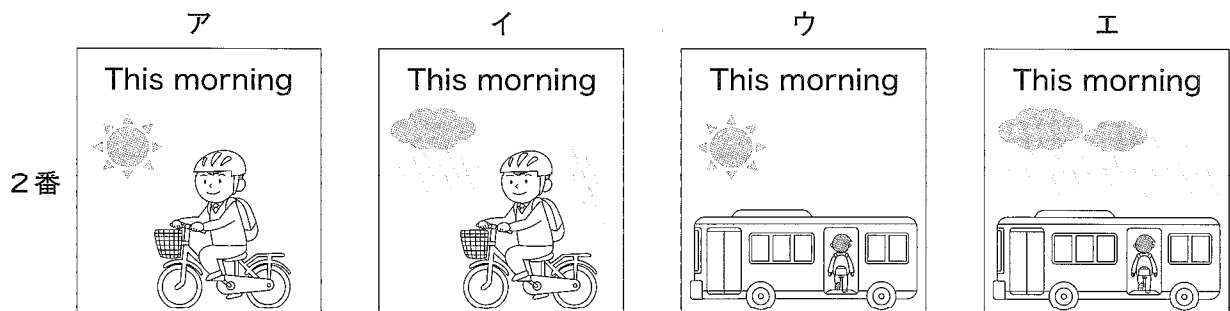
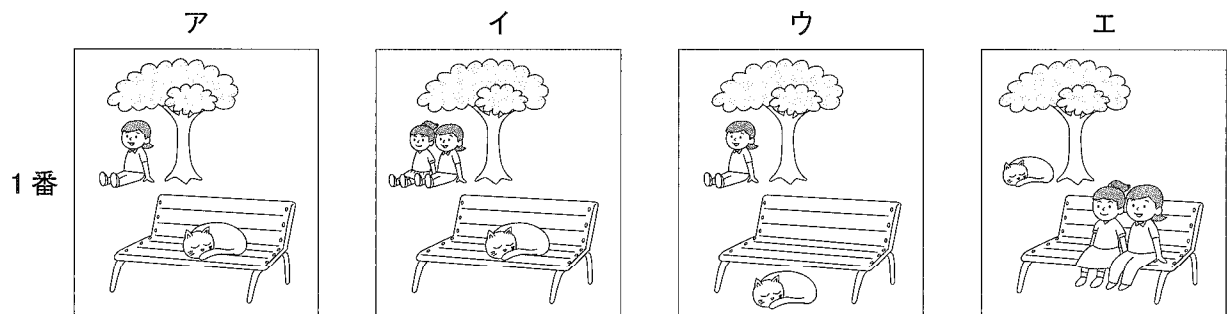
正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和5年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題

英語

第一問 (放送によるテスト) 次の問題1から問題4に答えなさい。

問題1 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。



第一問 (放送によるテスト) は、次のページにつづきます。

問題2 亮 (Ryo) とアリス (Alice) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。 に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。会話の のところでは、チャイム音が鳴ります。

1番 Ryo:
Alice:
Ryo:
Alice: (チャイム音)

- ア I'll check there.
- イ I have many books.
- ウ You can't see him.
- エ He is our teacher.

2番 Alice:
Ryo:
Alice:
Ryo: (チャイム音)

- ア My racket is black.
- イ I play tennis on Sundays.
- ウ You can use mine.
- エ My sister isn't free on that day.

問題3 伊藤先生 (Ms. Ito) と留学生のトム (Tom) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。

1番 ア He went to bed early last night.
イ He didn't sleep much last night.
ウ He helped his host family this morning.
エ He had breakfast late this morning.

2番 ア To eat a lot of food for good health.
イ To learn Japanese from his host family.
ウ To talk more with his host family.
エ To make breakfast with his host family.

3番 ア He told Ms. Ito how to sleep well.
イ He heard of three important things from his host family.
ウ He wants to know how to cook Japanese food.
エ He wants to start studying Japanese every morning.

問題4 留学生のローラ (Laura) と博人 (Hiroto) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進み、ローラが博人に質問をします。博人になったつもりで、に入る適切な発言を考えて、英語で解答用紙に書きなさい。会話の のところでは、チャイム音が鳴ります。

Laura:
 Hiroto:
 Laura:
 Hiroto: (チャイム音)

第一問 (放送によるテスト) は、ここまでです。

第二問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の二人の会話が成立するように、()に入る最も適切なものを、それぞれあとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) Kaito: Jane, I saw you at the park yesterday. What were you doing there?
 Jane: I was waiting () my sister.
 ア in イ for ウ at エ to

(2) Mother: () you go to the supermarket with me now?
 Child: Sorry, I have to do my homework.
 ア Are イ Must ウ Can エ Have

(3) Yuki: Do you know () Alex will go back to his country?
 Ted: Yes. He'll return there next month.
 ア when イ where ウ who エ what

2 次の(1), (2)の二人の会話が成立するように, () に入る適切な英語を, それぞれ1語書きなさい。ただし, 答えはすべて () 内に示された文字で書き始めなさい。

(1) *Mari:* Lily, we should take the train at 10:40 tomorrow.

Lily: OK. Let's (m) at the station at 10:20.

(2) *Ellie:* What is your (f) food, Toru?

Toru: I like curry and rice the best. I eat it every week.

3 次の(1), (2)の二人の会話が成立するように, () 内の語句を正しい順に並べかえ, (1)はア~エ, (2)はア~オの記号で答えなさい。ただし, 文頭にくる語も小文字で示しています。

(1) *Henry:* (ア that girl イ who ウ by エ is) the door?

Chika: Oh, she is my friend, Kaori.

(2) *James:* Look! I took some pictures of Mt. Fuji. I'll send them to my sister.

Keita: Wow, they are so beautiful! I'm (ア that イ like ウ will
エ sure オ she) them.

第三問 次の英文は, 高校1年生の和輝 (Kazuki) が, 軽音楽部 (popular music club) での経験について, 学校英語新聞に掲載するコラムとして書いたものです。この英文を読んで, あとの1~5の問いに答えなさい。

Do you remember the concert at our school festival in August? My band played music there.

In April, I joined the popular music club and started a band with my friends. Hana was the vocalist. Ami was the bassist, and Yuji was the drummer. I played the guitar. We were all beginners, so we decided to play just one song for the school festival concert. We found a song that was popular among students and started to practice it in May.

In July, our band had a big problem. Hana transferred to another school because of her father's job. We couldn't find another vocalist, so we tried to play musical instruments while singing. However, it was difficult to do that well. One day, Ami said, "Why don't we play musical instruments without singing?" Yuji said, "I don't want to do ① that. The audience won't enjoy the performance." Then I remembered a concert that I saw on TV. The audience was singing with the band. I said, "How about asking the audience to sing with us?" Yuji said, "Sounds good. I think they will sing with us because many of them know the song." Ami said, "Let's try that. I think that the audience will enjoy our performance more if they can join it." From that day, we tried to keep doing our best.

On the day of the festival, the concert was held in the gym. Before the performance, I said to the audience, "Sorry, we have no vocalist. We can't sing well, but we'll try. We'll be glad if you sing with us. Let's sing together." We started to play music, but at first, the audience didn't sing. However, we didn't stop our performance. Then, some of the audience started to sing, and others joined. Finally, the gym was full of singing voices. ② When we started our performance, we felt sad. However, when it ended, we were happy.

After the concert, we said, "We had a great time with the audience! Let's keep trying hard to have more good performances!" We learned it's important to continue doing everything we can to solve the problem.

<注> vocalist ボーカル bassist ベース奏者 drummer ドラム奏者
transferred to~ ← transfer to~ ~に転校する musical instrument(s) 楽器
while singing 歌いながら audience 観客 ask(ing)~to... ~に...するように頼む
singing voice(s) 歌声

- 1 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。
How many members were there in the band when Kazuki and his friends started it?
- 2 下線部①が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア Only singing a song.
イ Only playing musical instruments.
ウ Playing musical instruments while singing.
エ Playing musical instruments with a new vocalist.
- 3 下線部②のように和輝たちの心情が変化した理由を、具体的に日本語で書きなさい。
- 4 次のア～オを和輝のコラムの流れに合うように並べかえ、記号で答えなさい。
ア Hana left the band because she transferred to another school.
イ Kazuki found a way to solve the problem and the band members agreed with him.
ウ Kazuki became a member of the popular music club and started the band.
エ Kazuki and the band members enjoyed the performance with the audience.
オ Kazuki and the band members decided to play a popular song for the concert.
- 5 次の英文は、和輝のコラムを読んだ生徒が書いた感想文です。本文の内容をふまえて、
に入る最も適切なひとつづきの英語4語を、本文中から抜き出して書きなさい。

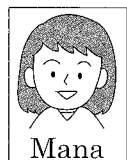
Why did the audience sing with the band? In my opinion, they supported the band because they thought the band members tried hard to have a good performance. If we to solve the problem, we will get a wonderful result. I learned that from Kazuki's story.

第 四 問 ある高校で、先生が提供した話題について、生徒が意見を発表するという英語の授業が行われました。次の英文は、先生が提供した話題と、その話題について真奈 (Mana)、里穂 (Riho)、ジョン (John) が発表したものです。これらの英文を読んで、あとの 1～4 の問いに答えなさい。

[先生が提供した話題]

| | |
|--|--|
| <p>Can you imagine how many clothes are given up in Japan? In 2020, about 751,000 tons of clothes were given up from homes. The graph shows how clothes were given up. According to it, twenty percent of the clothes were reused, and fourteen percent were recycled. More than sixty percent were given up as waste.</p> <p>What can we do to reduce the amount of clothes waste? Please tell me your opinions about this topic.</p> | <p>【 Graph 】 The Clothes Given Up from Homes in 2020</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 100px;">①</div> <p>〔環境省ホームページ〕より作成</p> |
|--|--|

[3 人の発表]



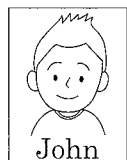
Mana

I was surprised to learn that so many clothes were given up as waste. I want to enjoy a lot of different fashions, so I always want new ones. However, if I have too many clothes, I can't wear all of them. I want to cherish the clothes I have. I found that using a clothes rental service is useful. People can wear different kinds of clothes without buying them. I think that's ② a good point of using the service. To reduce clothes waste, we should think about what clothes we buy. It doesn't mean that we can't enjoy fashion.



Riho

If we try to reuse the clothes other people don't need, we can reduce clothes waste. For example, we can wear clothes our family members don't use. However, I think it's difficult to get the clothes we really want in this way. So, I want to introduce a unique way to reuse clothes. Several events are held to exchange clothes with others. I joined one of the events and took some clothes that were too small for me. I was glad because I found people who wanted my clothes and I got clothes that I wanted. I think having events to exchange clothes is a nice way to cherish our clothes.

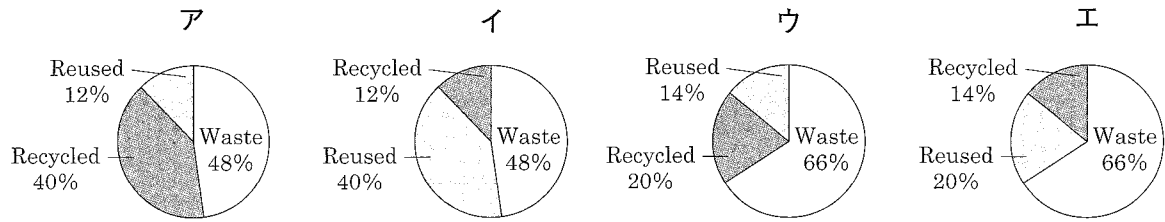


John

We don't have to give up our clothes if we can use them again in different ways. I'll tell you about my sister, Judy. Our mother has several clothes she doesn't wear. She bought them when she was young. Though their designs are old, they are beautiful. Judy got them and made her own shirt out of them. Our mother was glad because Judy cherished her old clothes. Judy says, "I want to make my mother happy by using her old clothes again. So I'll make more clothes out of her old ones." If we make new clothes by using old ones, we can reduce clothes waste.

<注> given up ← give up～ ～を手放す graph グラフ reuse(d)～ ～を再使用する
 recycle(d)～ ～を再生利用する waste ごみ reduce～ ～を減らす
 fashion(s) ファッション cherish(ed)～ ～を大切にす rental レンタル
 exchange～ ～を交換する design(s) デザイン out of～ ～を材料として

1 に入るグラフとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



2 下線部②が示す具体的な内容を、本文中から探して日本語で書きなさい。

3 次の(1), (2)の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。

- (1) What did Riho take to the event she joined?
- (2) Why will Judy make more clothes out of her mother's old ones?

4 次の英文は、3人の発表を聞いたメアリー (Mary) と健太 (Kenta) の会話です。本文の内容をふまえて、あとの(1)~(4)の問いに答えなさい。

Mary: They all thought a lot about the topic. To reduce clothes waste isn't easy, but we can find interesting ways to do it.

Kenta: I think so, too. Mana's speech showed us that we should be careful when we () new clothes.

Mary: According to Riho, the clothes someone () can be used again by another person who () them. We should remember that before we give up our clothes.

Kenta: That's true. John told us that we can reduce clothes waste if we .

Mary: These three speeches tell us that .

<注> careful 注意深い

(1) () に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア get イ make ウ sell エ exchange

(2) (), () に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア needs — needs イ doesn't need — needs
 ウ needs — doesn't need エ doesn't need — doesn't need

(3) に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア exchange old clothes with others イ enjoy buying clothes with our family
 ウ choose clothes with unique designs エ use old clothes to make new ones

(4) に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア selling our old clothes is the best way to reduce clothes waste
 イ having a lot of clothes is necessary to enjoy wearing clothes
 ウ we can reduce clothes waste by taking actions to cherish clothes
 エ we should find more effective ways to give up our clothes as waste

第五問 中学生の慎司 (Shinji) と、留学生のデイビッド (David) が、次のような会話をしています。この英文を読んで、あとの1, 2の問いに答えなさい。

Shinji: I want to buy a gift for my friend who lives in Australia. I don't know what to get for him.

David:

Shinji: He is seventeen years old.

David: Oh, is he a high school student?

Shinji: Yes. Now he is learning Japanese.

David: I see. Then, how about Japanese books?

Shinji: Good idea. What kind of book should I choose? Please give me some examples.

David: For example, you can choose a picture book, a comic book or a guidebook of Japan. Which one is good for him?

Shinji:

<注> gift 贈り物 picture book 絵本 guidebook ガイドブック

1 二人の会話が成立するように、本文中の に入る英語を1文書きなさい。

2 二人の会話が成立するように、本文中の に3文以上の英語を書きなさい。

これから、第一問の放送によるテストを行います。放送を聞いて問題 1 から問題 4 に答えなさい。放送中に問題用紙にメモをとってもかまいません。

問題 1, 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア, イ, ウ, エの中から 1 つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。英語は、それぞれ 2 回放送されます。では、始めます。

1 番 There are two girls under the tree. A cat is sleeping on the bench.
(この間約 4 秒)

繰り返します。

There are two girls under the tree. A cat is sleeping on the bench.
(この間約 4 秒)

2 番 Ken usually goes to school by bike. But he took a bus this morning because it was raining.
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Ken usually goes to school by bike. But he took a bus this morning because it was raining.
(この間約 7 秒)

次の問題に移ります。ページをめくり、2 ページに進んでください。
(この間約 4 秒)

問題 2, 亮 (Ryo) とアリス (Alice) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。空欄に入る発言として最も適切なものを、それぞれア, イ, ウ, エの中から 1 つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。会話は、それぞれ 2 回放送されます。では、始めます。

1 番 Ryo: Alice, what are you doing?
Alice: I'm looking for Mr. Suzuki, but I can't find him.
Ryo: Maybe he is in the library now.
Alice: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Ryo: Alice, what are you doing?
Alice: I'm looking for Mr. Suzuki, but I can't find him.
Ryo: Maybe he is in the library now.
Alice: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

2番 Alice: Do you have any plans for next Sunday, Ryo?
Ryo: Yes. I'm going to play tennis with my sister. Will you join us?
Alice: Sounds good. But I don't have a racket.
Ryo: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Alice: Do you have any plans for next Sunday, Ryo?
Ryo: Yes. I'm going to play tennis with my sister. Will you join us?
Alice: Sounds good. But I don't have a racket.
Ryo: (チャイム音)
(この間約 7 秒)

次に問題3に移ります。伊藤先生 (Ms. Ito) と留学生のトム (Tom) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。はじめに会話、続いて質問の順で、2回放送されます。では、始めます。

Ms. Ito: Tom, how are you today? You looked tired during the class.
Tom: Well, I went to bed late last night. I couldn't sleep much, so I got up late this morning.
Ms. Ito: That's too bad. Did you have breakfast?
Tom: No, I didn't. My host family always makes delicious Japanese food for breakfast. I wanted to eat it, but I didn't have time today.
Ms. Ito: Oh, both sleeping well and eating breakfast are important for your health.
Tom: That's true. You talked about three important things for good health. Going to bed early, getting up early, and eating breakfast, right?
Ms. Ito: Yes. If you get up early, you can have a good start to the day. Also, you can do something with your host family in the morning.
Tom: Something? What can I do?
Ms. Ito: How about making breakfast with them?
Tom: That's a nice idea. I want to try it and learn how to make Japanese food from my host family. Thank you very much, Ms. Ito.

続いて質問に移ります。

- 1番 Why did Tom look tired?
(この間約 4 秒)
- 2番 What is Ms. Ito's idea for Tom?
(この間約 4 秒)
- 3番 Which is true about Tom?
(この間約 7 秒)

会話を繰り返します。

Ms. Ito: Tom, how are you today? You looked tired during the class.
Tom: Well, I went to bed late last night. I couldn't sleep much, so I got up late this morning.
Ms. Ito: That's too bad. Did you have breakfast?
Tom: No, I didn't. My host family always makes delicious Japanese food for breakfast. I wanted to eat it, but I didn't have time today.
Ms. Ito: Oh, both sleeping well and eating breakfast are important for your health.
Tom: That's true. You talked about three important things for good health. Going to bed early, getting up early, and eating breakfast, right?
Ms. Ito: Yes. If you get up early, you can have a good start to the day. Also, you can do something with your host family in the morning.
Tom: Something? What can I do?
Ms. Ito: How about making breakfast with them?
Tom: That's a nice idea. I want to try it and learn how to make Japanese food from my host family. Thank you very much, Ms. Ito.

続いて質問に移ります。

- 1 番 Why did Tom look tired?
(この間約 4 秒)
- 2 番 What is Ms. Ito's idea for Tom?
(この間約 4 秒)
- 3 番 Which is true about Tom?
(この間約 9 秒)

次に問題4に移ります。留学生のローラ (Laura) と博人 (Hiroto) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進み、ローラが博人に質問をします。博人になったつもりで、空欄に入る適切な発言を考えて、英語で解答用紙に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。会話を2回放送したあとに、答えを記入する時間をとります。では、始めます。

Laura: My town is so small and doesn't have many shops.
Hiroto: My town is also small, but I like it very much.
Laura: Why do you like it?
Hiroto: (チャイム音)
(この間約 3 秒)

繰り返します。

Laura: My town is so small and doesn't have many shops.
Hiroto: My town is also small, but I like it very much.
Laura: Why do you like it?
Hiroto: (チャイム音)
(この間約 15 秒)

これで放送によるテストを終わります。次の問題に移ってください。

| 備考欄 | 配点 | | 第一問 | |
|---------------------------------------|----|-----|-----------------------------------|---|
| | 25 | | | |
| | 3 | 問題1 | 1番 | イ |
| | 3 | | 2番 | エ |
| | 3 | 問題2 | 1番 | ア |
| | 3 | | 2番 | ウ |
| | 3 | 問題3 | 1番 | イ |
| | 3 | | 2番 | エ |
| | 3 | | 3番 | ウ |
| 配点は内容について2点、表記について2点とする。採点基準は各学校で定める。 | 4 | 問題4 | (例) Because there is a nice park. | |

| 備考欄 | 配点 | | 第二問 | |
|------------------|----|---|-----|-------------------|
| | 20 | | | |
| | 2 | 1 | (1) | イ |
| | 2 | | (2) | ウ |
| | 2 | | (3) | ア |
| | 3 | 2 | (1) | (例) meet |
| favouriteも正答とする。 | 3 | | (2) | (例) favorite |
| | 4 | 3 | (1) | イ → エ → ア → ウ |
| | 4 | | (2) | エ → ア → オ → ウ → イ |

| 備考欄 | 配点 | | 第四問 | |
|-----|----|---|---|--------|
| | 26 | | | |
| | 2 | 1 | エ | |
| | 4 | 2 | (例) 様々な種類の衣服を購入せずに着ることができること。 | |
| | 4 | 1 | (例) She took some clothes that were too small for her. | |
| | 4 | | (1) | |
| | 4 | 3 | (例) Because she wants to make her mother happy by using her old clothes | |
| | 4 | | (2) | again. |
| | 3 | 4 | (1) | ア |
| | 3 | | (2) | イ |
| | 3 | | (3) | エ |
| | 3 | | (4) | ウ |

| 備考欄 | 配点 | | 第三問 | |
|-----|----|---|---|--|
| | 18 | | | |
| | 4 | 1 | (例) There were four members. | |
| | 3 | 2 | イ | |
| | 4 | 3 | (例) 演奏を始めたときには、観客は歌わなかったが、演奏の終わりには、体育館が歌声でいっぱいになっていたから。 | |
| | 4 | 4 | ウ → オ → ア → イ → エ | |
| | 3 | 5 | keep doing our best | |

| 備考欄 | 配点 | | 第五問 | |
|---------------------------------------|----|---|--|--|
| | 11 | | | |
| | 3 | 1 | (例) How old is he? | |
| 配点は内容について5点、表記について3点とする。採点基準は各学校で定める。 | 8 | 2 | (例) I think a picture book is good for him. | |
| | 8 | | He can use it to study Japanese because it is written in easy Japanese. Also, he can enjoy the beautiful pictures in the book. | |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

「言葉の特徴や使い方」、「情報の扱い方」及び「我が国の言語文化」に関する知識・技能並びに「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の思考力・判断力・表現力等を活用し、国語で正確に理解し適切に表現する力をみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、四字熟語や行書の特徴についての知識をみようとした。また、交流会の活動内容についての話し合いなどを素材とし、情報の扱い方についての知識及び技能と話し合いの進め方の工夫など、合意形成に向けて話し合う力をみようとした。

第二問では、元コンピュータープログラマーで、市職員となった主人公が、朗読される詩の録音活動を行う中で自分の心の中にあった詩作への思いに気づく場面を描いた文章を素材とし、叙述に基づいて、登場人物の心情や表現の効果

などを豊かに読み取り、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、生物多様性に関して、生物を形質の面から論じた文章と、生物を種類の面から論じた文章の二つの文章を素材とし、叙述に基づいて、相互に対照しながら読む中で、書き手のものの見方や考え方を的確に捉え、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、中国宋代の漢詩を素材とし、古典の基礎的な事項の知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりとして、古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第五問では、読書の魅力を伝えるためにふさわしい言葉を考えてキャッチコピーを創作し、その言葉を考えた理由を書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問>知識・技能及び思考力・判断力・表現力等「話すこと・聞くこと」

言葉についての理解を深め、漢字を正しく用いることに課題

問一 漢字の読み書きの問題。⑥「興奮」は無答率が14.0%であった。「興」は小学校第5学年、「奮」は小学校第6学年の配当漢字である。「高奮」「興奪」という誤答がみられた。漢字の指導に当たっては、他教科等の学習や日常生活でも漢字を書くことを意識させることが大切である。書写との関連を図り、必要に応じて辞書を引かせるなどして、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養いたい。

問四 (三) 二つの観点で必要な情報を取り出し、表に整理できるかをみる問題。正答率

は81.3%と比較的高いが、c層では「目的に合う」の観点を誤って捉え、ウと解答したものが多かった。聞いたり読んだりして得た情報の様々な関係を図式化して整理することにより、複雑な関係を把握したり自分の思考を明確にしたりすることができる。こうした「知識及び技能」を活用する場面を増やし、言語活動をより一層充実させたい。

<第二問>思考力・判断力・表現力等「読むこと」文学的な文章

場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることに課題

問四 文章の中で各場面が果たす役割や、登場人物の設定を捉えることができるかをみる

問題。正答率は80.0%と比較的高い。文章全体と部分の関係に注意しながら、描写を基に登場人物の人物像や相互関係などを捉えることが求められている。

問五 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかをみる問題。正答率は4.3%と極めて低く、言葉を手掛かりにして文脈をたどることに課題が見られた。語句の文脈上の意味に注意しながら、複数の場面を結び付けて場面や描写に新たな意味付けを行ったり、自分の解釈の根拠を考え他者の解釈と比較したりして、それぞれの考えを伝え合う活動を取り入れて文章を深く理解させ、作品がもつ魅力に迫りたい。

＜第三問＞思考力・判断力・表現力等「読むこと」説明的な文章

文章の構造を捉えて要旨を把握すること、文章の構成や論理の展開を把握し適切に表現することに課題

問一 書き手の主張の基盤となる部分について、具体例との関係を考えながら要旨を把握することができるかをみる問題。本文で述べられていないことを含むイの解答が31.5%であることから、叙述から離れ、自分の知識・経験から判断した者が多かったか。文章の構造を踏まえて、キーワードなどに留意して情報を整理し、正確に要旨を捉えさせたい。

問五 二つの文章を比較しながら読み、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、適切に表現することができるかをみる問題。無答率は20.3%で全問中最も高かった。複数の文章を比較する際には、注目する部分を絞り込んだ上で、それぞれの文章の構成や論理の展開を把握し、それらがどのように工夫されているか、自分なりの考えをもつことができるよう

な授業展開の工夫が望まれる。

＜第四問＞知識及び技能「我が国の言語文化」

古典に描かれている情景を想像することに課題

問三(二) 現代語訳や語注を手掛かりに、漢詩に描かれている情景を想像し、適切に表現することができるかをみる問題。正答率は16.8%であった。現代語訳や語注に依拠して、漢詩に描かれた情景を豊かに想像できていないと思われる解答が目立つ。原文の音読や暗唱を効果的に取り入れながら、描かれている情景を十分に想像させることが大切である。

＜第五問＞思考力・判断力・表現力等「書くこと」提案を述べる文章

目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、文章を整えることに課題

豊かに発想すること及び自分の考えを適切に表現することができるかをみる問題。読書の魅力を伝えるために「ふさわしい言葉」を考え、キャッチコピーを創作した上で、その言葉が「ふさわしい」と考える理由を適切に説明することを求めた。「書くこと」の学習においては、何のために、誰に対して、どのような意図をもって書くのかなどを具体的に考えることが大切である。また、書いた文章全体を俯瞰して捉え、読み手の立場に立った客観的な視点から目的や意図に応じた表現を整えること、読み手からの助言などを踏まえて、自分が書いた文章のよい点や改善点を書き手である生徒自身が見いだすことも重要である。生徒が、「書くこと」の学習を通して、次の書く活動へ生かす具体的な視点を得られるよう、授業づくりを工夫したい。

| 問題 | | | 正答率 → | ← 無答率 | 得点率 | 調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~46点) | | |
|-----|------------|------------------|-------|-------|---------|--|----------|---------|
| 第一問 | ① | 記述 知・技漢字 | 99.3% | 0.0% | 99.3% | a:100.0% | b:100.0% | c:97.9% |
| | ② | 記述 知・技漢字 | 96.3% | 0.0% | 96.3% | a:97.4% | b:97.2% | c:94.4% |
| | ③ | 記述 知・技漢字 | 83.3% | 1.8% | 83.3% | a:95.7% | b:88.7% | c:68.1% |
| | ④ | 記述 知・技漢字 | 90.5% | 4.5% | 90.5% | a:96.5% | b:92.2% | c:84.0% |
| | ⑤ | 記述 知・技漢字 | 76.5% | 7.5% | 76.5% | a:94.8% | b:87.2% | c:51.4% |
| | ⑥ | 記述 知・技漢字 | 59.0% | 14.0% | 59.0% | a:90.4% | b:61.7% | c:31.3% |
| 第二問 | ① | 多肢選択 知・技語彙 | 89.8% | 0.0% | 89.8% | a:99.1% | b:91.5% | c:80.6% |
| | ② | 多肢選択 知・技語彙 | 84.5% | 0.0% | 84.5% | a:93.9% | b:91.5% | c:70.1% |
| 問三 | 多肢選択 知・技書写 | 72.8% | 0.0% | 72.8% | a:90.4% | b:70.9% | c:60.4% | |
| 第四問 | (一) | 多肢選択 話・聞進め方 | 93.0% | 0.0% | 93.0% | a:99.1% | b:96.5% | c:84.7% |
| | (二) | 多肢選択 話・聞進め方 | 88.0% | 0.0% | 88.0% | a:94.8% | b:89.4% | c:81.3% |
| | (三) | 多肢選択 知・技情報整理 | 81.3% | 0.0% | 81.3% | a:94.8% | b:84.4% | c:67.4% |
| | (四) | 多肢選択 話・聞進め方 | 95.8% | 0.0% | 95.8% | a:100.0% | b:97.9% | c:90.3% |
| | (五) | 記述 話・聞進め方 | 49.3% | 5.8% | 59.2% | a:81.7% | b:63.6% | c:36.8% |
| 第二問 | 問一 | 多肢選択 読む構造内容 | 95.5% | 0.0% | 95.5% | a:100.0% | b:97.2% | c:90.3% |
| | 問二 | 記述 読む精査解釈 | 38.0% | 2.5% | 59.3% | a:72.2% | b:59.3% | c:48.8% |
| | 問三 | A 抜き出し 読む精査解釈 | 91.5% | 4.0% | 91.7% | a:100.0% | b:97.9% | c:78.9% |
| | | B 抜き出し 読む精査解釈 | 87.8% | 4.3% | 89.4% | a:96.2% | b:94.1% | c:79.4% |
| | 問四 | 多肢選択 読む精査解釈 | 80.0% | 0.3% | 80.0% | a:95.7% | b:82.3% | c:65.3% |
| 問五 | 記述 読む精査解釈 | 4.3% | 16.0% | 22.6% | a:38.4% | b:24.4% | c:8.2% | |
| 第三問 | 問一 | 多肢選択 読む構造内容 | 62.8% | 0.0% | 62.8% | a:78.3% | b:67.4% | c:45.8% |
| | 問二 | 記述 読む構造内容 | 38.5% | 3.5% | 68.9% | a:77.1% | b:73.5% | c:57.9% |
| | 問三 | 抜き出し 読む精査解釈 | 84.0% | 5.0% | 85.9% | a:98.0% | b:90.3% | c:72.0% |
| | 問四 | (一) 抜き出し 読む構造内容 | 77.0% | 6.3% | 83.4% | a:96.5% | b:89.4% | c:67.1% |
| | | (二) 多肢選択 読む構造内容 | 81.5% | 0.5% | 81.5% | a:96.5% | b:85.8% | c:65.3% |
| 問五 | 記述 読む精査解釈 | 16.3% | 20.3% | 43.7% | a:66.3% | b:47.9% | c:21.4% | |
| 第四問 | 問一 | 記述 知・技言語文化 | 66.3% | 0.8% | 66.3% | a:84.4% | b:63.8% | c:54.2% |
| | 問二 | 記述 知・技言語文化 | 54.5% | 2.8% | 54.5% | a:84.4% | b:58.2% | c:27.1% |
| | 問三 | (一) 多肢選択 知・技言語文化 | 78.8% | 1.5% | 78.8% | a:96.5% | b:82.3% | c:61.1% |
| | | (二) 記述 知・技言語文化 | 16.8% | 13.3% | 39.2% | a:47.5% | b:47.3% | c:24.3% |
| 第五問 | 論述 書く提案文 | 1.8% | 0.5% | 63.1% | a:72.7% | b:65.7% | c:52.9% | |
| 計 | | | | | 70.8% | a:83.2% | b:74.1% | c:57.6% |

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

| | | | | | | |
|---|----|---------|--------------|--------------------|----|----|
| 備考欄 | | | | | | 配点 |
| 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 20 |
| 第二問 | | | | | | |
| 問五 | 問四 | 問三 B | 問三 A | 問二 | 問一 | |
| (例) ずっと抱いていた詩への思いに向き合って、人間らしく、自分も体内に満ちた言葉を詩にして読みたいという気持ち。 (五十三字) | ア | 一步踏み出した | 多くの人が見届けてくれた | (例) 録音を全て終えていた(十字) | ウ | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-------------|--------------|------------|---------------------------------------|----------------|-----------------|
| 備考欄 | | | | | | | | | | | 漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。 | 配点 | |
| 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 30 | |
| 第一問 | | | | | | | | | | | | | |
| 問四 | | | | | 問三 | 問二 | 問一 | | | | | | |
| (五) | (四) | (三) | (二) | (一) | 三 | 二 | 一 | | | | | | |
| (例) 合意がとれている(八字) | ウ | イ | エ | ア | エ | ア | イ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| | | | | | | | | 興奮 コウファン | 領域 リョウウイキ | 染ソ (める) | 誘致 ユウチ | やと 雇 (う) | なが 眺 (める) |

| | | |
|--|--|----|
| 採点の基準等 | | 配点 |
| 20 | | |
| 第五問 | | |
| <p>△採点の基準▽</p> <p>1 内容及び表現について 15点</p> <p>キヤッチコピーに入れる言葉を考え、それがふさわしいと考えた理由が適切に説明されているか。</p> <p>2 表記について 5点</p> <p>(1) 誤字や脱字はないか。</p> <p>(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。</p> <p>(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。</p> <p>(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。</p> <p>(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。</p> <p>△留意事項▽</p> <p>採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。</p> <p>(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。</p> <p>(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。</p> | | |

| | | | |
|-------------------------|-----|---|----|
| 備考欄 | | | 配点 |
| 3 | 3 | 2 | 10 |
| 第四問 | | | |
| 問三 | 問二 | 問一 | |
| (二) | (一) | | |
| (例) かえるがたくさん集まって鳴く(十四字) | イ | 着草花 着 _キ 草 _{クサ} 花 _{ハナ} | ウ |

| | | | | | | |
|--|-----|---------|--------------------------|----|---|----|
| 備考欄 | | | | | | 配点 |
| 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 20 |
| 第三問 | | | | | | |
| 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 | | |
| | (二) | (一) | | | | |
| (例) 一見怠け者に見えるアリが、実は労働量不足の事態に備え、力を蓄えて待機している予備軍だということ。(四十八字) | エ | いろいろな環境 | (例) アリの巣に「怠け者」が存在する(十五字) | ア | | |

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

第四問 次の【漢詩】と、その【書き下し文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係により
掲載しておりません。

〔「秋崖集」による〕

*をつけた語句のへ注▽

漠漠——たちこめるさま。
余香——あり余るほど豊かな香り。
森森——さかんに茂るさま。
柔緑——柔らかい緑の葉。
池塘——ため池。

問一 この【漢詩】の形式を何というか、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 五言絶句
イ 五言律詩
ウ 七言絶句
エ 七言律詩

問二 【書き下し文】を参考にして、【漢詩】中の「着草花」に返り点を付けなさい。

問三 次の対話は、【漢詩】について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 この【漢詩】は、全体を通して、晩春の **A** が、さまざまな感覚に訴えるように表現されているよ。
〈Yさん〉 そうだね。第三句の「蛙成市」は、 **B** 様子が、にぎわう市場にたとえられているね。
〈Xさん〉 そのときの情景を思い浮かべると、耳にも聞こえてくるように感じられて、おもしろいと思ったよ。

(一) **A** にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 農民の豊かな暮らしぶり
イ 生命感あふれる村里の風景
ウ 動物たちの荒々しい息遣い
エ 大自然に調和する村人の姿

(二) **B** にあてはまる適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

第五問

ある中学校の図書委員会では、読書週間に合わせて、読書の魅力を伝えるキヤッチコピーを全校生徒から募集し、校内に掲示することにしました。次の【キヤッチコピー】の **A** に入れる言葉として、あなたはどのような言葉がふさわしいと考えますか。その言葉がふさわしいと考えた理由も含めて、百六十字～二百字で書きなさい。

【キヤッチコピー】

読書はあなたを **A**

に連れて行く

*をつけた語句の△注▽

自然選択説

淘汰

補填

レットル

生存に有利な形質を持つものが生き残り、適応しないものは滅びるといふ、ダーウィン提唱の進化論。
ここでは、外界に適応しないものとして滅びること。
不足分を補って埋めること。
ここでは、ある人物や物事に対する一方的な評価のこと。

問一 【文章Ⅰ】の本文中に「^①そうした生き方」とありますが、このことを

説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 生涯をかけて、自分たちの巣を守るためだけに行動し続ける生き方。
- イ 生涯をかけて自分の使命を理解し、徐々に任務を果たしていく生き方。
- ウ 生涯にわたり、女王が生む子どもに、エサの採集方法を教える生き方。
- エ 生涯にわたり、巣を守るよりも自分の遺伝子を残そうとする生き方。

問二 【文章Ⅰ】の本文中に「^②事実は理論より奇なり。」とありますが、次の文は、このことを説明したものです。

表現を考えて、十五字以内で答えなさい。
[] にあてはまる適切な

ダーウィンの「自然選択説」の理論に基づけば、真社会性昆虫の巣では、エサや住処をめぐる競争に勝つために全員が働き者になるはずだが、不思議なことに、[] という事実が見つかったこと。

問三 【文章Ⅰ】の本文中に「^③先入観」とありますが、次の対話は、このこと

について【文章Ⅱ】と比べて話し合ったものです。
[] にあてはまる言葉を、【文章Ⅱ】の本文中から八字でそのまま抜き出して答えなさい。

<Xさん>

【文章Ⅰ】でいう「先入観」は、人間があらかじめ持つて

しまっている、働きアリに対する一方的な見方のことだね。
<Yさん> そうだね。そして【文章Ⅱ】の本文中にも、この「先入観」と類似する、人間のものの見方が例示されているよ。

<Xさん> 確かにそうだね。【文章Ⅱ】の、草原に生える草の種類をコ

ントロールする実験の例では、「単純に考えると」という表現が用いられ、一番生産性の高い土地の利用法は、最も成長速度の速い草を [] ことだと思われやすいと書かれているよ。

<Yさん> 二つの文章中に現れた、人間のものの見方には、似通ったところがあるんだね。

問四 【文章Ⅱ】の本文中に「^④生物多様性が高いメリット」とありますが、

次の文は、このことについて、筆者が述べていることを説明したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

生物多様性が高いことで、草原内の [A] に適合した草が生えてくるため、草原全体としての生産性は高くなる。また、生物多様性が高いと、 [B] ことにもなる。

(一) [A] にあてはまる言葉を、【文章Ⅱ】の本文中から六字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) [B] にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 病気の流行は起こりやすくなるが、一方で気象の変化には強い草が生き残る
- イ 草原は不安定になるが、極端な環境の変化や病気の流行が起きたときには逆に安定する
- ウ 極端な環境の変化が起きたあとには、より病気に強い種類の草が生まれる
- エ 極端な環境の変化や病気の流行が起きたときに、草原全体が被る影響を最小限に抑える

問五 【文章Ⅱ】の本文中に「^⑤一見無駄なように思えてもいざというときに

役立つという性質を冗長性という。」とありますが、【文章Ⅰ】の本文中にも、この「冗長性」が現れている事例があります。その事例の内容を、五十字以内で説明しなさい。

第三問 次の【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章Ⅰ】

著作権の関係により
掲載しておりません。

(五箇 公一「これからの時代を生き抜くための生物学入門」による)

【文章Ⅱ】

著作権の関係により
掲載しておりません。

(伊勢 武史「2050年の地球を予測する」による)

著作権のよ
し載りま
し関係に
り掲載し
ており
せん。

(岩井圭也「生者のポエトリー」による)

*をつけた語句のへ注V

混沌

ものが入りまじって、はつきりしない状態。

例のライブ

ここでは、以前「おれ」が録音に訪れた、個人や音楽グループによる詩の朗読会のこと。あとに出てくる「先日のライブ」も同じ。

白井

「おれ」の勤め先である市役所の上司。

パーソナリティ

ここでは、ラジオ番組の司会者のこと。

壮年

三十代から五十代くらいの、働き盛りの年ごろ。

低頭

謝意を表すために頭を低く下げること。

問一 本文中に「朗読は一度きりだ。」とありますが、詩の朗読について、「おれ」がこのように思ったのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 朗読の録音会に多くの参加者が集まったため、進行に余裕がないから。
- イ 朗読には高い技術が求められるため、常に成功するとは限らないから。
- ウ 朗読は、その瞬間に沸き上がる感情が現れるため、再現できないから。
- エ 朗読には緊張による疲労が伴うため、休みなく連続して行えないから。

問二 本文中に「肩の力が抜けていくのを感じる。」とありますが、次の文は、このときの「おれ」の様子を説明したものです。□にあてはまる適切な表現を考えて、十字以内で答えなさい。

予想以上に人が集まった録音会を、参加者たちの協力を得ながら何とか進めてきたところ、参加者の言葉によって、無事に□ことに気づかされ、緊張が緩みほぐれていく様子。

問三 次の対話は、本文中の……線部の表現について話し合ったものです。七字で、それぞれ本文中からそのまま抜き出して答えなさい。

A □にあてはまる言葉を十二字で、B □にあてはまる言葉を

〈Xさん〉 どちらも、「おれ」が涙ぐんだ様子についての描写だね。

〈Yさん〉 そうだね。「涙腺がじわりと緩む」という表現からは、録音

会が終わるまで A □ ことに感動しながら、うれしさと感

謝で胸がいっぱいになって、涙がにじんだことが読み取れるね。

〈Xさん〉 「鼻の奥がつんとした」は、なくなりそうだった〈街角の詩〉

を続けたことに対して、参加者から感謝の言葉をもらった場面

での描写だよ。自分が B □ ことは正しかったと肯定的に受

け止め、涙が流れるのを我慢していることが伝わるね。

〈Yさん〉 人生で初めて、本当の意味で主体的に行動できたこと、その行

動を正面から認めてもらえたことに、喜びを感じているんだね。

問四 本文中に「気弱そうな男」とありますが、この「男」が、どのような役割を果たす人物として描かれているか説明したものと、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「おれ」が詩に抱いている思いを呼び起こし、詩を読むきっかけを作る人物として描かれている。
- イ 参加者を代表して、「おれ」の進行の仕方に対して不満を述べる人物として描かれている。
- ウ 録音会を終えて安心する「おれ」に、ステージに立つ喜びを説明する人物として描かれている。
- エ 「おれ」に対する感謝の言葉を、勇気を出して熱く伝える人物として描かれている。

問五 本文中に「人間はきつと、誰でも詩を読むことができる。」とありますが、このときの「おれ」の気持ちを五十五字以内で説明しなさい。

著作権の関係により
掲載していません。

著作権の関係により
掲載していません。

(二) 【話し合いの一部】の中の「三つの案のうち、」で始まるAさんの発言について、ここでの司会の進め方を説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の意見にこだわらず、相手の意見を柔軟に受け入れている。
- イ 話し合いの方向を修正するために、一時的に話題を整理している。
- ウ 自分とは異なる考えの根拠を確かめ、自分の考えを主張している。
- エ ここまでの話し合いをまとめ、次に話し合うべき観点を提示している。

(三) 【話し合いの一部】の中に「表を使って、三つの案を整理してみるね。」とありますが、【案Ⅰ】～【案Ⅲ】について、Aさんが整理した表として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア

| | 目的に合う | 準備可能 |
|----|-------|------|
| 案Ⅰ | ○ | × |
| 案Ⅱ | 保留 | × |
| 案Ⅲ | ○ | ○ |

ウ

| | 目的に合う | 準備可能 |
|----|-------|------|
| 案Ⅰ | 保留 | 保留 |
| 案Ⅱ | ○ | ○ |
| 案Ⅲ | 保留 | × |

イ

| | 目的に合う | 準備可能 |
|----|-------|------|
| 案Ⅰ | ○ | 保留 |
| 案Ⅱ | 保留 | ○ |
| 案Ⅲ | ○ | × |

エ

| | 目的に合う | 準備可能 |
|----|-------|------|
| 案Ⅰ | ○ | 保留 |
| 案Ⅱ | × | ○ |
| 案Ⅲ | ○ | ○ |

※ ア～エの記号について

「○」は、目的に合っていること、または、準備可能なことを表す。

「×」は、目的に合っていないこと、または、準備不可能なことを表す。

(四) 【話し合いの一部】の中の「先ほどのBさんの、」で始まるCさんの発言について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他の人の意見を複数提示し、それぞれの案のメリットとデメリットを吟味して説明している。
- イ 他の人の意見に対する疑問を、強い調子にならないように言い方に気をつけて発言している。
- ウ 他の人の意見の長所を生かしながら、よりよい結論となるように自分の考えを提案している。
- エ 他の人の意見を深く理解するために、話し合いの展開を踏まえながら具体的に質問している。

(五) 【話し合いの一部】の中に「今のCさんの案に対するみんなの意見は、交流会の目的に合っていて、準備も可能だということではないかな。」とありますが、次の文は、このAさんの発言の意図についてまとめたものです。□にあてはまる適切な表現を考えて、十字以内で答えなさい。

Cさんの案に対して、現時点で交流会の係全員の□ことを確かめようとしている。

□

問四 ある中学校の生徒会役員は、近隣の保育園と毎年交流会を行っています。今年は、生徒会役員のAさんたち四人が係となり、三週間後に行う交流会の活動内容について話し合いました。次は、Aさんが司会となって話し合ったときの【黒板の一部】と【話し合いの一部】です。あとの(一)～(五)の問いに答えなさい。

【黒板の一部】


保育園との交流会について

目的
ふれあいを通じて、楽しい時間を過ごしてもらう。

参加者
・園児(4～5歳児) 20人
・生徒会役員10人

活動内容

| | |
|----|----------|
| 案Ⅰ | 積み木ドミノ倒し |
| 案Ⅱ | ドッチビー |
| 案Ⅲ | 手作り人形劇 |



【話し合いの一部】

- 〈Aさん〉 これまで出された案をもとに、交流会の目的に合っているか、準備が可能かどうかという観点から、交流会の活動内容を決めよう。案Ⅰから案Ⅲは、全員が参加できるものばかりだね。まず、目的に合っているかを考えるよ。
- 〈Bさん〉 案Ⅰの積み木ドミノ倒しは、全員で一本の長いドミノの列を作り、倒して遊ぶというものだから、難しい作業もなく、園児と一緒に楽しく活動できそうだね。
- 〈Cさん〉 そうだね。ドミノを倒すときは盛り上がりそうだね。でも案Ⅱのドッチビーもよい案だと思うよ。ルールはドッジボールとほぼ同じだけれど、ボールの代わりに柔らかい円盤を使うから、当てられても痛くないし、全員で楽しく活動できるね。
- ① 〈Dさん〉 確かに、ドッチビーは楽しく活動できる案だね。でも、少し心配なこともあるよ。ドッチビーは、小学校低学年くらいになればルールを理解できそうだけれど、園児全員がルールを理解して楽しめるか、保育園への確認が必要になってくるね。
- 〈Aさん〉 なるほど。案Ⅲの手作り人形で劇をする案はどうかかな。
- 〈Bさん〉 人形劇は、見ている園児も、演じる私たちも一緒に楽しめる

よい案だと思うよ。手作りした人形を保育園にプレゼントすれば、交流会後も遊べるし、私たちとのつながりもできるね。

② 〈Aさん〉 三つの案のうち、案Ⅰと案Ⅲは目的に合っているけれど、案Ⅱについては、保育園への確認が必要だから保留とするよ。次は、準備が可能かどうかという観点から考えてみよう。

〈Cさん〉 案Ⅰについては、保育園にある積み木の数で、長いドミノの列が作れるかどうかわからないから、今は保留だね。あとで保育園に確認しよう。案Ⅱのドッチビーで使う円盤は、近くの公民館が無料で貸し出しているから準備できるよ。

〈Dさん〉 案Ⅲの人形劇は、人形を手作りし、練習もするとすると、三週間の準備期間では間に合わないよ。

③ 〈Aさん〉 確かにそうだね。では、これまでの話し合いについて、表を使って、三つの案を整理してみね。

〈Bさん〉 表にすると、考えがすっきりして検討がしやすくなるね。

④ 〈Aさん〉 保留にしている点を保育園に確認するとして、結果によっては、別の案も必要になってくると思うよ。考えておこうか。

〈Dさん〉 これまでの意見の長所を生かせるような案にしたいよね。

⑤ 〈Cさん〉 先ほどのBさんの、手作りした人形をプレゼントすれば、交流会後も私たちとのつながりができるという意見は、とてもよいと思ったよ。Bさんの意見を生かして、学校や家にある物で簡単に準備できる手作りおもちゃを幾つか持参して、一緒に遊ぶという案はどうかかな。例えば、ペットボトルボウリングなどは、遊んだあとに保育園にプレゼントできるよ。

⑥ 〈Bさん〉 いいね。その案なら準備可能だし、全員で楽しめそうだよ。

⑦ 〈Dさん〉 そうだね。Cさんの案は、よい案になっていると思うよ。

⑧ 〈Aさん〉 私も賛成だよ。今のCさんの案に対するみんなの意見は、交流会の目的に合っていて、準備も可能だということではないかな。この案が、よりよい案になるよう、さらに検討を続けよう。

(一) 【話し合いの一部】の中の「確かに、」で始まるDさんの発言について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他の人の意見を受け止めたうえで、気がかりな点を指摘している。
- イ 他の人の意見のよいところを見つけて、全面的に同意している。
- ウ 他の人の意見に対して、わかりにくかったところを質問している。
- エ 他の人と自分の意見を比較して、よりよい結論にまとめている。

令和5年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
国語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

・ 窓から外を眺める^①。

・ 新たに社員を雇う^②。

・ 観光客を誘致する^③。

・ 草木で布をソめる^④。

・ 未知のリヨウイキを探求する^⑤。

・ 白熱した試合にコウフンする^⑥。

問二 次の文の——線部①、②のカタカナを漢字に改めたものとして、正しいものを、それぞれあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

・ 説明に対してタントウ直入に質問をする^①。

ア 統 イ 刀 ウ 党 エ 投

・ 発表会の会場探しに東奔セイソウする^②。

ア 走 イ 早 ウ 操 エ 創

問三 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いたとき、総画数が最も多いものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 雲 イ 移 ウ 絹 エ 閣

